

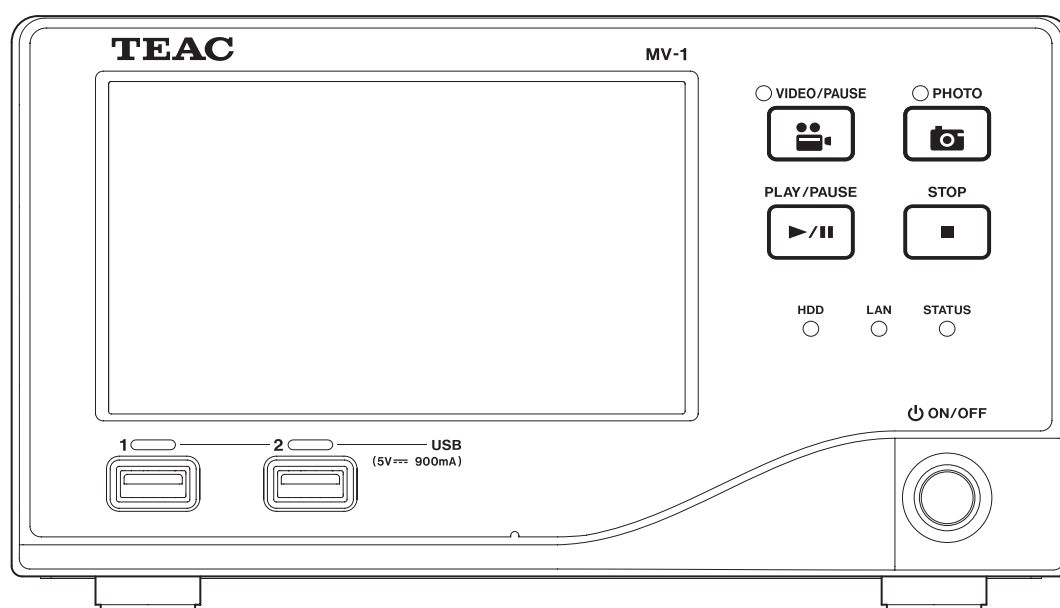
# TEAC

## 取扱説明書

# MV-1

## 内視鏡イメージレコーダー

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。  
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。  
未永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



## はじめに

### 免責事項

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、又は、これらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

### ネットワークへの接続に関して

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を取得していない製品です。

このため電気通信事業者（固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線に直接接続することは出来ません。接続させる場合は、必ず技術適合認定取得済みのルーターなどを経由させるようお願い致します。なお、お客様のお取り扱いが適切でないために生じた故障・損傷に関して弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

また、第三者による意図しないアクセスを防止するため以下の確認をお願いします。

- ①製品へのアクセスに必要な ID とパスワードは外部に漏れないよう管理をお願いします。
- ②設定する ID とパスワードは容易に推測されない文字と数字の組み合わせで設定して下さい。
- ③設定する ID とパスワードは定期的に変更して下さい。

ANY USE OF THIS PRODUCT IN ANY MANNER OTHER THAN PERSONAL USE THAT COMPLIES WITH THE MPEG-2 STANDARD FOR ENCODING VIDEO INFORMATION FOR PACKAGED MEDIA IS EXPRESSLY PROHIBITED WITHOUT A LICENSE UNDER APPLICABLE PATENTS IN THE MPEG-2 PATENT PORTFOLIO, WHICH LICENSE IS AVAILABLE FROM MPEG LA, LLC, 6312 S. Fiddlers Green Circle, Suite 400E, Greenwood Village, Colorado, 80111 U.S.A.

Microsoft および Windows は 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

## 特徴

本機は各種映像装置からの映像信号を記録・再生するための装置です。動画には H.264、静止画には JPEG を採用し効率よく記録します。記録データは本機の内蔵 HDD、USB メディア、ネットワークなどに保存することができます。


- **長時間の動画記録が可能です。**  
H.264 方式で効率良く圧縮し、最大 24 時間の動画記録が可能です。
- **各種信号を入力できます。**  
MV-1 は NTSC 規格のコンポジットビデオ (VIDEO)、S-VIDEO、RGB、SD-SDI 信号に対応しています。また、高精細ビデオ信号は、3G-SDI/HD-SDI/DVI/HDTV(アナログハイビジョン) 信号に対応しています。
- **4 種類の静止画画質**  
EQ (高圧縮)、SQ (標準画質)、HQ (高画質)、TIFF (非圧縮) の 4 種類の画質が選べます。
- **4 種類の動画画質**  
EQ (高圧縮)、SQ (標準画質)、HQ (高画質)、XQ (最高画質) の 4 種類の画質が選べます。
- **便利なデータ管理情報を付加します。**  
付属のリモコンから画像データにつぎのような情報を付け加えて記録できます。これらの情報を手がかりにして画像をすばやく検索することができます。
  - ・日時 : 記録した日時
  - ・ID : 32 文字までの英数字
  - ・名前 : 32 文字までの英数字、カナ
  - ・生年月日: 32 文字までの英数字
  - ・性別 : 32 文字の英数字
  - ・検査部位: 32 文字までの英数字、カナ
- **サムネイル表示ができます。**  
1 つの画面にサムネイル画像を表示して、その中から見たい画像を選ぶことができます。
- **そのままパソコンで表示できます。**  
USB メディアに記録した画像は、USB メディアをパソコンに接続することで、パソコンで表示できます。

## 特徴








- **パソコンで歪みなく表示できます。**  
画素が正方形になるように記録しますので、画像データをパソコンで表示したときに歪みがありません。
- **画像データを消去して再び記録できます。**  
再フォーマットすることにより、USB メディア上のデータを全て消去し、そこに再び記録することができます。

## 本体に表示している記号について

### 前面 (フロント)






記号	機能
 ON/OFF	電源を入 / 切するためのスイッチです。

### 背面 (リア)

記号	機能
~IN	電源入力端子です。付属の電源コードを接続してください。
	等電位化端子です。DIN 42801 に従った等電位化ケーブルを接続してください。
	LAN(ネットワーク)端子です。
	映像入力端子です。
	映像出力端子です。
	音声入力端子です。
	音声出力端子です。
	この表示のある端子は静電気により内部が破損する可能性があります。端子の接点部に素手で触れないようご注意ください。

# 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p><b>警告</b> 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。</p> <p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm 以上）離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から 15cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあけるすきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
 <p>指示</p>	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年 1 回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>

 <h2 style="display: inline;">警告</h2> <p style="display: inline-block; vertical-align: middle;">以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	
 分解禁止	<p><b>この機器のカバーは絶対に外さない</b>                      カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。                      内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。</p>
	<p><b>この機器を改造しない</b>                      火災・感電の原因となります。</p>
 <h2 style="display: inline;">注意</h2> <p style="display: inline-block; vertical-align: middle;">以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>	
 電源プラグをコンセントから抜く	<p><b>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す</b>                      ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります</p>
	<p><b>長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く</b>                      通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
 指示	<p><b>各種周辺機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する</b>                      また、接続は指定のケーブルを使用する</p>
	<p><b>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする</b>                      異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p>
	<p><b>この機器には、付属の電源コードを使用する</b>                      それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 禁止	<p><b>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない</b>  <b>湿気やほこりの多い場所に置かない。</b>  <b>加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない</b>                      火災・感電やけがの原因となることがあります。</p>
	<p><b>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない</b>                      コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。                      必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 禁止	<p><b>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない</b>                      感電の原因となることがあります。</p>

# 目次

はじめに.....	2	再生する.....	23
ネットワークへの接続に関して.....	2	記録データ一覧.....	23
特徴.....	2	ID 検索.....	24
本体に表示している記号について.....	3	日付検索.....	24
安全にお使いいただくために.....	4	動画再生中の操作.....	25
目次.....	6	USB メディア再生.....	25
お使いになる前に.....	7	再生のときに便利な機能.....	26
使用上の注意.....	7	患者情報を変更する.....	26
内蔵 HDD について.....	7	転送する / コピーする.....	27
内蔵電池.....	7	ネットワーク転送.....	27
画像保管について.....	8	記録データを転送 / コピーする.....	27
使用するメディアについて.....	8	画像を転送 / コピーする.....	27
内蔵ソフト「DVFinder」について.....	8	画像参照.....	28
ソフトウェア使用契約.....	8	過去画像参照.....	28
記録データについて.....	9	過去画像と入力画像を切り換える.....	29
電源を入れる前の準備.....	10	パソコンで画像を表示する.....	30
電源コードを接続する.....	10	必要なシステム.....	30
リモコンを接続する.....	10	DVFinder を起動する.....	30
入力ケーブルを接続する.....	10	設定操作.....	31
出力ケーブルを接続する.....	10	メニュー一覧.....	32
音声入出力について.....	10	映像入力選択.....	33
フロントパネル.....	11	設定.....	34
リアパネル.....	12	メンテナンス.....	46
リモコン.....	14	メッセージ履歴.....	47
使ってみましょう.....	16	文字入力.....	48
電源を入れる.....	16	文字の種類を選択する.....	48
リモコン LCD.....	16	文字の入力.....	48
USB メディアをフォーマットする.....	17	エラーメッセージ一覧.....	49
電源を切る.....	18	保守と保証.....	53
記録前の準備.....	19	点検のすすめ.....	53
入力信号の選択.....	19	本体のクリーニング.....	53
静止画画質の設定.....	19	故障かなと思ったら.....	53
動画画質の設定.....	19	保証について.....	54
カードリーダー / バーコードリーダーの設定.....	19	廃棄するときは.....	54
USB メディアのフォーマット.....	19	仕様.....	55
記録する.....	20	付録 A 各種端子ピン配列.....	56
患者情報入力.....	20	ソフトウェアに関する重要なお知らせ.....	57
検査を開始する.....	20	マイクロソフトソフトウェア ライセンス条項.....	57
静止画を記録する.....	20	GPL.....	58
動画を記録する.....	21	LGPL Version 2.....	59
検査を終了する.....	21	LGPL Version 2.1.....	61
直前に撮った画像を見る.....	21		
検査中にビデオ入力を切り換える.....	22		
記録画像の削除について.....	22		



## 使用上の注意

- 確実な動作のために下記の環境のもとでご使用ください。
  - 温度：5 ～ 40 ℃
  - 湿度：5 ～ 80%RH (非結露)
  - 最大湿球温度 29℃
- 水平に設置し、振動を避ける  
本製品はゴム足を下にして水平に設置してください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。また、熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- 本機を移動したり、輸送などで梱包する場合は、全てのケーブル、デバイスを取り外してください。端子を損傷する恐れがあります。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機を十分にテレビから離してお使いください。
- 誤動作等の原因となることがありますので、次のような場所で使用しないでください。
  - ・高周波を発生する機器の近く
  - ・強力な磁気、静電気のあるところ

## 内蔵 HDD について

本機は HDD (ハードディスクドライブ) を内蔵しています。HDD は衝撃や振動、温度など周囲の環境の変化を受けやすく、記録されている画像に影響を及ぼす可能性があります。

以下のことにご注意ください。

- ・振動、衝撃を与えないで下さい。
- ・水平な場所に置いてご使用下さい。
- ・ HDD アクセス中に電源を切らないで下さい。

### 注意

内蔵 HDD に記録した内容の長期保管は保証できません。また、古い画像から自動削除します。大切な画像データは、LAN または USB メディア経由でパソコンや DVD などでの保管を推奨します。

### 注意

HDD には寿命があり、使用状態によっては数年で不良が発生する場合があります。記録または再生が出来なくなった場合は、ティアック修理センター (裏表紙に記載) に修理をご依頼ください。

## 内蔵電池

本機は内蔵の時計を動かすための電池を持っています。この電池が切れると正確な時刻保持ができなくなり、記録した時刻に影響があります。寿命が来る前に 5 年ごとに交換することをおすすめします。交換が必要になった際は、ティアック修理センター (裏表紙に記載) までご用命ください。

### 画像保管について

記録した画像を長期間保管するには、パソコンやDVDなどでの保管を推奨します。

### 使用するメディアについて

本機には、USB メモリー、USB HDD が接続可能です。記録する前に本機でフォーマットしてください。

本書では USB メモリー/HDD のことを USB メディアと記載します。

### 動作確認メディアについて

当社、情報機器事業部のウェブサイトには、当社で動作確認済みの USB メディアが掲載されていますので、本機の仕様をご参照ください。

<https://teacmv.jp/products/mv-1/spec.html>

または、裏表紙に記載の情報機器事業部 イメージングシステムソリューション部 メディカルシステム営業課までお問い合わせください。

### 内蔵ソフト「DVFinder」について

本製品には USB メディア内に記録した画像をパソコンで検索するための Windows ソフトウェア「DVFinder」を内蔵しています。「USB メディアフォーマット」操作により、メディアに書き出します。

### ソフトウェア使用契約

1. 本契約は、お客様が本製品のご使用を開始したときから発効します。
2. 本ソフトウェア及びそのコピーに関する全ての権原及び著作権は、弊社若しくはその供給者に留保されます。本ソフトウェアの使用に際してアクセスされるその内容物に関する全ての権原及び著作権は、それぞれの所有者に帰属し、適用される著作権及び知的財産権に関する法規及び国際条約により保護されています。本契約は、貴方にその内容物に関するいかなる権利を許諾するものではありません。
3. (1) お客様は、本ソフトウェアをバックアップ以外の用途で複製することはできません。  
(2) お客様は、本ソフトウェアを解析したり、コンパイル言語やアセンブラ言語に変換することはできません。  
(3) お客様は、本ソフトウェアを弊社の事前承諾なく、第三者に譲渡することはできません。
4. 弊社は、本ソフトウェアが所定の環境下において、弊社が明示した動作をすることは確認しておりますが、本ソフトウェアが、お客様の特定の使用目的に適合するか否か、また、本ソフトウェアの動作が中断しないことや誤りのないことを保証するものではありません。
5. 弊社は、本ソフトウェアの使用や使用不能から生じたいかなる損害（事業上の損失、営業の中断、営業上の情報の損失、その他の金銭上の損害など）についても責任を負いません。たとえその損害の可能性が弊社に事前に知らされていたとしても同様です。

上記契約に関してご不明な点などがございましたら弊社にお問い合わせください。



## 記録データについて

本機では記録開始または「検査開始」ボタンを押してから「終了」ボタンを押すまでに記録されたデータを「記録データ」と呼びます。

「記録データ」に対して1つの「フォルダー」を作成し、一連の画像ファイルが保存されます。

本機では記録データ内には5000枚の画像ファイルを保存できます。

- 5000枚に達した場合は、新規に記録データを作成してください。
- USBメディアへは記録データを9999件まで保存できます。  
9999件に達した場合は、空き容量があっても保存できません。

フォルダー、ファイル構造は下図のようになります。

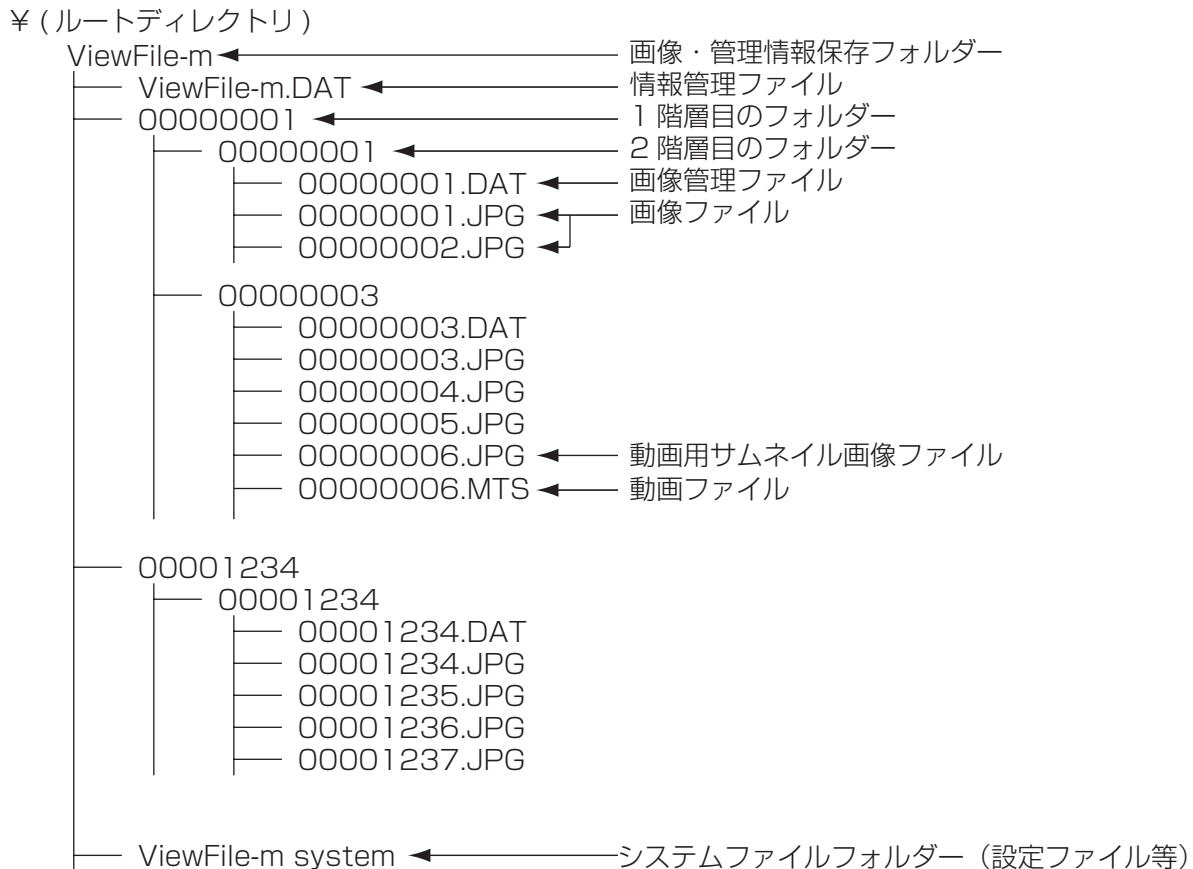
## 画像ファイル名

静止画ファイル(.JPG)のファイル名は、フォルダーの枠を超えて連番になります。たとえば、あるフォルダーの最後の画像ファイルが「00000005.JPG」とすると、次のフォルダーの最初の画像のファイル名は「00000006.JPG」になります。

動画ファイル(.MTS)も同様で、静止画と混在した連番になり、記録順(開始時間)に番号が付けられません。

## フォルダー名(2階層目のフォルダー名)

各フォルダーのフォルダー名は画像ファイル番号と同じになります。なお、初回時には1階層目のフォルダーを自動的に作成します。このフォルダー名も、フォルダー内の最初の画像ファイル番号と同じになります。



愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。

内部にほこりがたまってきたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

1年に1度は、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。

費用についてはお問い合わせください。

# 電源を入れる前の準備

電源を入れる前に行う接続と設定について説明します。ここで説明する接続、設定が終わるまでは電源を入れないでください。

接続するのは、電源、リモコン、ビデオ入力、ビデオ出力です。

## 電源コードを接続する

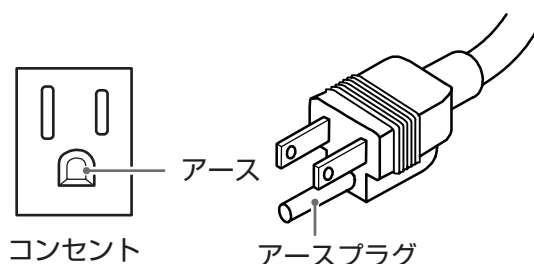
### 注意

本機の電源は AC100V ± 10 % (50/60Hz) です。それ以外の電源を投入すると火災・感電の原因となります。

感電事故を防ぐため、絶縁トランスを使用してください。

付属の電源コードを本体リアパネルの電源入力端子に接続してください。

電源コードのプラグをコンセントに接続してください。電源コードは 3 芯式です。安全のため 2 芯式コンセント（アースなし）には接続しないでください。



## リモコンを接続する

### 注意

リモコン (VS-1) の抜き差しをするときには本体の電源を切ってください。電源を入れたまま抜き差しすると本体またはリモコンが破損することがあります。

リモコンケーブル先端のプラグを本体リアパネルの USB 端子に差し込んでください。USB 端子は 4 個ありますがどこに差し込んでも動作します。

複数のリモコンを差し込むと破損する可能性があります。

## 入力ケーブルを接続する

本機は標準ビデオの S-VIDEO、VIDEO 及び高精細ビデオの SD/DVI(DVI-I) の入力端子をもちます。使用する端子に入力ケーブルを接続してください。

## 出力ケーブルを接続する

本機は標準ビデオの S-VIDEO、VIDEO、RGB の 3 つの NTSC の出力端子と高精細ビデオの SD/DVI(DVI-I) の出力端子を持ちます。

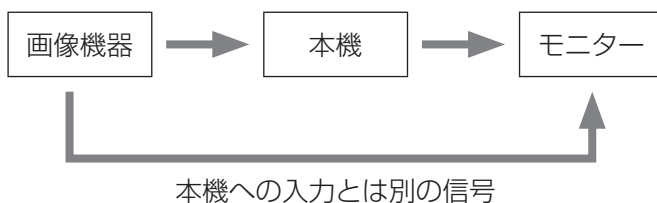
使用する端子に出力ケーブルを接続してください。

- 電源を切っても画像が見られるようにするには  
下図の接続例 1 では、本機の電源を切るとモニターで入力画像を見ることはできません。接続例 2 のようにつなぐと、本機の電源を切っても入力画像を見ることができます。

接続例 1

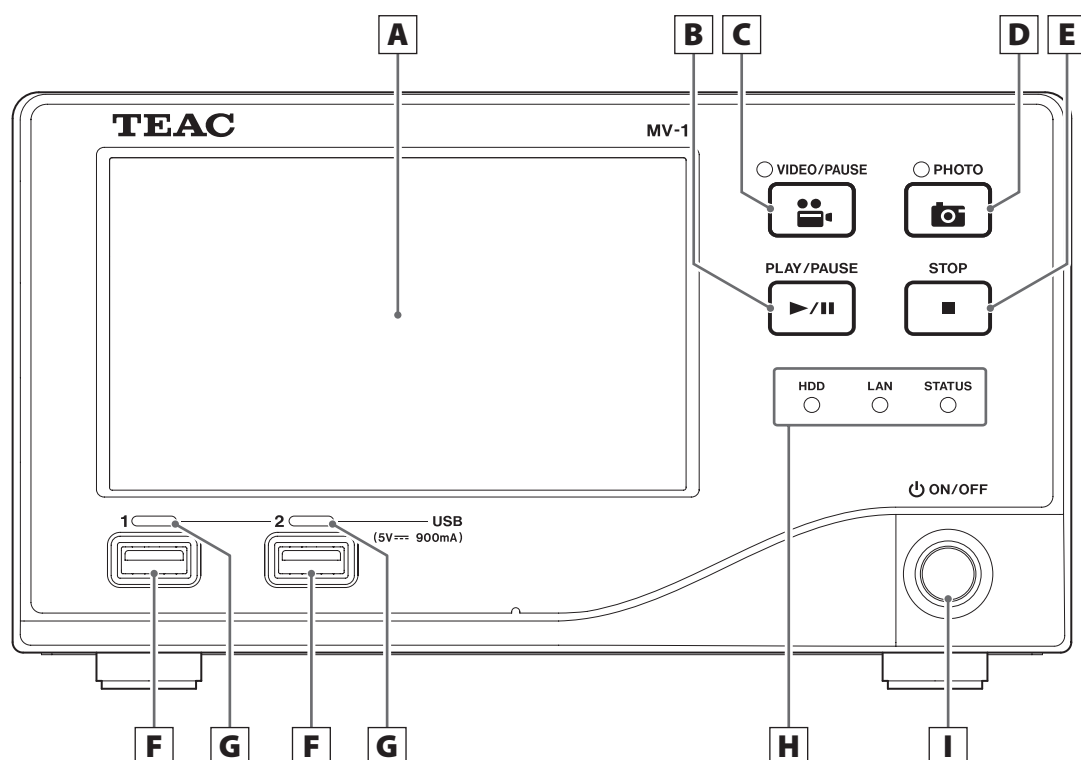


接続例 2



## 音声入出力について

本機は音声入力 / 出力端子があります。必要に応じて音声入力 / 出力端子を接続します。



## A LCD タッチパネル

時計や状態を表示します。

## B 再生 / 一時停止ボタン (PLAY/PAUSE)

動画と静止画の再生 / 一時停止を行います。  
動画再生中に押すと一時停止し、もう一度押すと動画再生を再開します。

## C 記録 / 一時停止ボタン (VIDEO/PAUSE)

動画の記録 / 一時停止を行います。  
動画記録中に押すと一時停止し、もう一度押すと動画記録を再開します。  
動画記録中には LED が点灯します。  
一時停止中には LED が点滅します。

## D 静止画ボタン (PHOTO)

静止画を記録します。(20 ページ)  
静止画を記録すると LED が橙点灯 (約 0.5 秒) します。

## E 停止ボタン (STOP)

動画記録の停止または動画再生の停止を行います。

## F USB 端子

USB メディアを接続します。

### 注意

USB ハブの接続はできません。

## G USB アクセス表示 LED

USB のアクセス状態を表します。

消灯 : USB なし

緑点灯 : USB 待機中

緑点滅 : USB 読み込み中

橙点滅 : USB 書き込み中

## H 状態表示 LED

本機の動作状態を表します。

HDD

緑点灯 : HDD 待機中

緑点滅 : HDD 読み出し中 (外付 HDD を含む)

橙点滅 : HDD 書き込み中 (外付 HDD を含む)

赤点灯 : 装置異常

LAN

消灯 : ネットワークのリンク信号なし

緑点灯 : ネットワークのリンク信号あり

緑点滅 : ネットワークアクセス中

STATUS

消灯 : 操作不可

緑点灯 : 記録可能状態

橙点灯 : 入力信号未検出

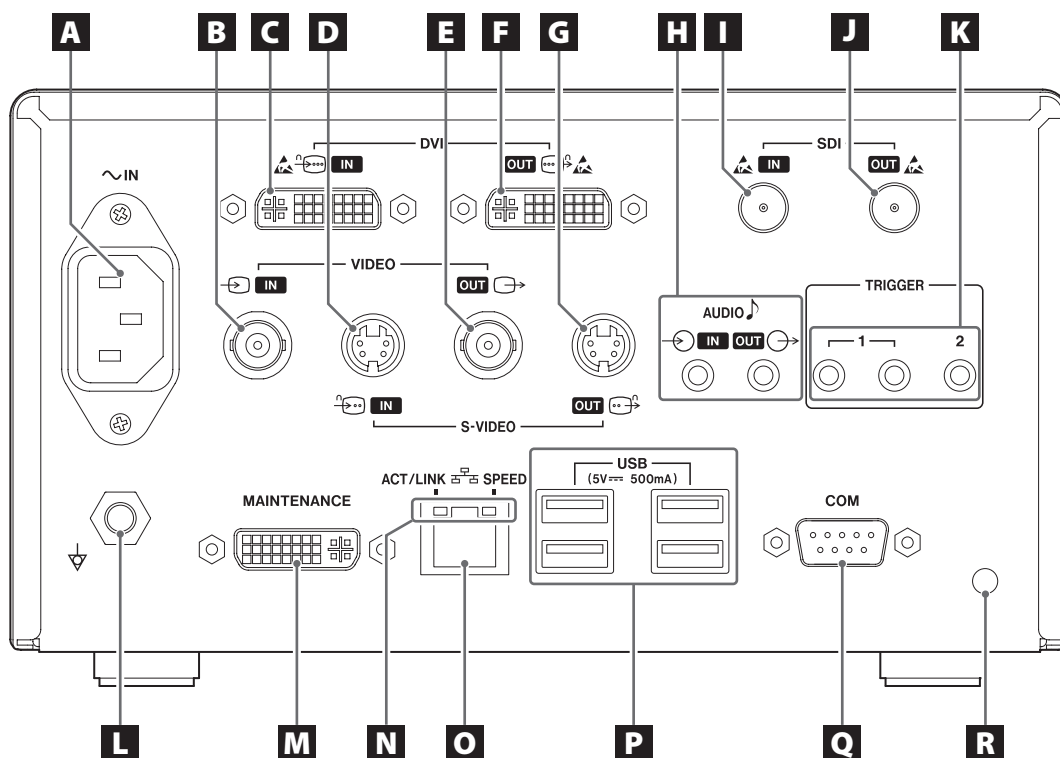
赤点灯 : 装置異常

## I 電源スイッチ (ON/OFF)

押すと電源がオンになります。もう一度押すと切れます。

電源がオンになると青色に点灯します。

# リアパネル



## A 電源入力端子 ( ~IN )

付属の電源コードを接続します。アース線は必ず接地してください。

## B VIDEO 入力端子 ( ㊦ )

VIDEO/COMPOSITE (NTSC) 信号を入力します。(BNC)

## C DVI/HDTV 入力端子 ( ㊦ )

DVI(DVI-D) ビデオ信号、HDTV(DVI-A) 信号または NTSC RGB 信号を入力します。  
HDTV または NTSC RGB 信号を使用する場合、DVI-VGA 変換アダプタをご使用下さい。

## D S-VIDEO 入力端子 ( ㊦ )

S-VIDEO (NTSC) 信号を入力します。(S 端子)

## E VIDEO 出力端子 ( ㊦ )

VIDEO/COMPOSITE (NTSC) 信号を出力します。

## F DVI/HDTV 出力端子 ( ㊦ )

DVI(DVI-D) ビデオ信号、HDTV(DVI-A) 信号または NTSC RGB 信号を出力します。  
HDTV 信号または NTSC RGB 信号を使用する場合、DVI-VGA 変換アダプタをご使用下さい。

## G S-VIDEO 出力端子 ( ㊦ )

S-VIDEO (NTSC) 信号を出力します。(S 端子)

## H AUDIO( 音声 ) 入力端子 ( ㊦ ) / 出力端子 ( ㊦ )

IN

音声信号を入力します。(3.5φ ステレオミニジャック)

OUT

音声信号を出力します。(3.5φ ステレオミニジャック)

## I SDI 入力端子

SDI ビデオ信号を入力します。(BNC)

**J** SDI 出力端子

SDI ビデオ信号を出力します。(BNC)

**K** 外部トリガ端子

外部接点スイッチ等を接続します。  
(3.5φ ステレオミニジャック)

**L** 等電位化端子 (♣)

DIN42801 に従った等電位化ケーブルを接続してください。

医療機器と組み合わせて使用される際は専用のケーブルで機器と機器を接続してください。

**M** MAINTENANCE

この端子はサービス用途に限定されており、一般ユーザーはご使用になれません。(DVI)

**N** LAN ステータス LED**ACT/LINK**

消灯 : LINK なし

橙点灯 : LINK 中

橙点滅 : データ送受信中

**SPEED**

消灯 : 10M speed

橙点灯 : 100M speed

緑点灯 : 1G speed

**O** LAN 端子 (㊦㊦)

ネットワークに接続します。

接続および設定は当該ネットワーク管理者の指示に従ってください。

(100 Base-TX/1000 Base-T(RJ45))

**P** USB 端子

付属のリモコン VS-1 を接続します。

他にオプションのカードリーダー、バーコードリーダーを接続します。

- USB メディアは接続できません。

**Q** RS-232C 端子 (COM)

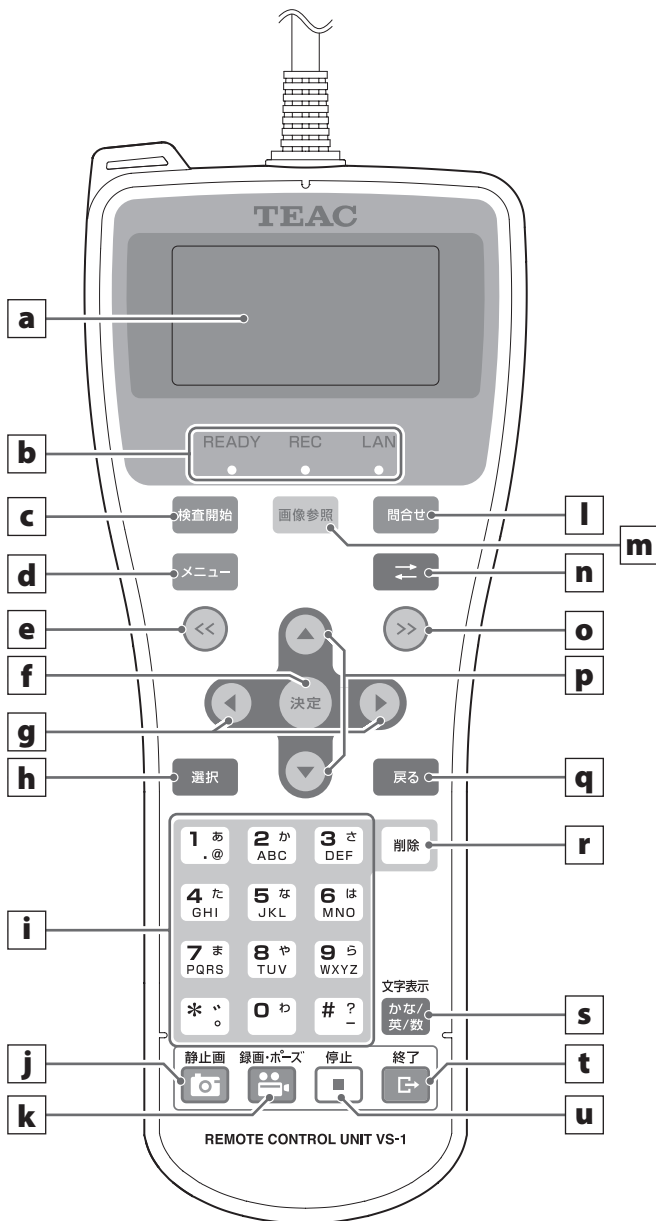
外部から本機をコントロールするときに使います。  
詳細はお問い合わせください。(D-SUB 9Pin)

**R** ケーブルクランプ取り付け穴

付属のケーブルクランプを取り付けます。

接続ケーブル端子にストレスがかからないようにクランプしてください。

# リモコン



出荷時のリモコンの表面には透明の保護シートが貼ってあります。  
保護シートをはがしてお使いください。

## a 表示器 (LCD)

各種状態を表示します。

## b LED

READY

- 消灯 : 操作不可
- 緑点灯 : 記録可能状態
- 橙点灯 : 入力信号未検出
- 赤点灯 : 装置異常

REC

- 消灯 : 停止中
- 橙点灯 : 記録中 (静止画の場合、一瞬橙点灯)

LAN(緑色のLED)

- 消灯 : ネットワークのリンク信号なし
- 緑点灯 : ネットワークのリンク信号あり
- 緑点滅 : ネットワークアクセス中

## c 検査開始ボタン

検査を開始するときに押します。(20 ページ)

## d メニューボタン

メニュー画面を表示します。(31 ページ)

## e << ボタン

文字の削除を行います。

## f 決定ボタン

メニューの選択や入力した文字を確定します。

## g ◀、▶ ボタン

フォーカスを左右に移動させます。  
再生中は前の画像や次の画像に移動します。  
動画再生中は 25 ページを参照してください。



**h** 選択ボタン

このボタンはサービス用途に限定されており、一般ユーザーはご使用になれません。

**i** 数字ボタン

IDの入力や設定値の入力に使用します。

**j** 静止画ボタン

静止画を記録します。(20 ページ)

**k** 録画・ポーズボタン

動画の記録 / 一時停止を行います。(21 ページ)  
動画記録中に押すと動画記録を一時停止し、もう一度押すと動画記録を再開します。

**l** 問合せボタン

患者情報リストを受信する場合に使用します。  
別途専用サーバが必要です。

**m** 画像参照ボタン

記録データを表示するときに押します。(28 ページ)

**n** ⇄ ボタン

このボタンはサービス用途に限定されており、一般ユーザーはご使用になれません。

**o** >> ボタン

このボタンはサービス用途に限定されており、一般ユーザーはご使用になれません。

**p** ▲、▼ ボタン

フォーカスを上下に移動させます。

**q** 戻るボタン

メニュー画面・再生画面表示中は一つ前の画面に戻ります。

**r** 削除ボタン

文字の削除を行います。

**s** かな / 英 / 数ボタン

入力する文字の種類を選択します。

**t** 終了ボタン

検査を終了するときを押します。終了すると、IDLE状態になります。

**u** 停止ボタン

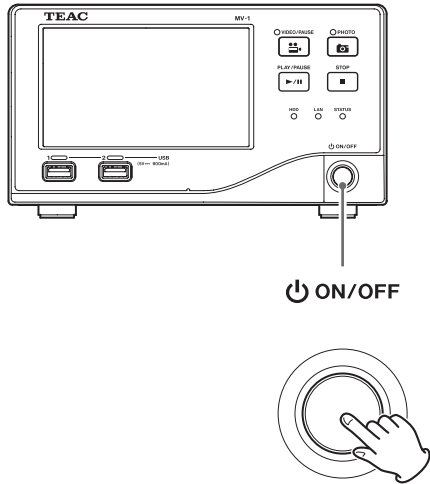
動画記録の停止、動画再生の停止を行います。

# 使ってみましょう

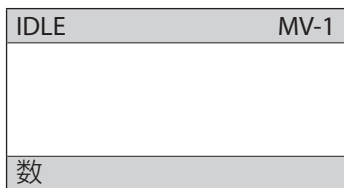
## 電源を入れる

モニター、画像機器、本機の順に電源を入れてください。

前面パネルの電源スイッチを押します。

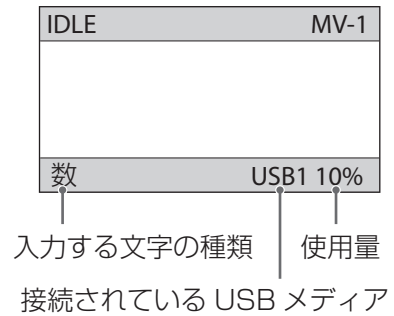


リモコン LCD に「IDLE」と表示されたら起動完了です。



## リモコン LCD

リモコン LCD の最下行には、以下の情報が表示されます。



入力する文字の種類  
使用量  
接続されている USB メディア

### 接続されている USB メディア

USB メディアの場所を表示します。

- USB1 : USB1 ポート
- USB2 : USB2 ポート

### 使用量

選択されているデバイスの使用量を%で表示します。

- USB メディアが接続されていないときは何も表示されません。

### 入力する文字の種類

リモコンの文字ボタンが押されたときに入力される文字の種類が表示されます。(48 ページ)

## USB メディアをフォーマットする

### 1 電源投入後、IDLE 状態で「メニュー」ボタンを押す。

下記のメニューが表示されます。

メニュー
映像入力選択
設定
▶ メンテナンス
メッセージ履歴

### 2 「▲」、「▼」ボタンで「メンテナンス」を選択し「決定」ボタンを押す。

下記のメニューが表示されます。

メンテナンス
▶ USB メディアフォーマット
システムアップデート
ログファイル書き出し
ログファイル書き出し期間
設定書き出し
設定読み込み
初期化
ライセンス
シャットダウン

### 3 「▲」、「▼」ボタンで「USB メディアフォーマット」を選択し「決定」ボタンを押す。

サブメニューが表示されます。

メディアフォーマット
▶ USB1 フォーマット
USB2 フォーマット

### 4 「▲」、「▼」ボタンでフォーマットするメディアを選択し「決定」ボタンを押す。

サブメニューが表示され、「実行」を選択すると

フォーマットを開始します。  
数秒でフォーマットが終了します。

- 本装置のフォーマットは簡易フォーマットです。  
物理的に全データエリアを消去したい場合は、パソコン等でフォーマットしてください。

#### 注意

フォーマットすると USB メディアに保存されているデータは全て消去されます。

#### 注意

本装置で使用するメディアは、必ず本装置でフォーマットしてください。異なった機器でフォーマットしたものを使うと不具合の原因になります。

#### 注意

USB メディアが接続されていると起動時間は長くなります。

## 電源を切る

- 1 リモコンの LCD 表示が「IDLE」でなければ「終了」ボタンを押す。

リモコンの LCD 表示が「IDLE」になります。

- 2 前面パネルの LAN/HDD/USB の各 LED が点滅していないことを確認して電源スイッチを押す。

- LAN/HDD/USB の各 LED が点滅しているときはアクセス中を示します。(11 ページ)  
点滅しなくなるまで待ってください。

### 注意

電源を切った後に再度電源を入れる場合は、約 20 秒待ってから、電源を入れてください。  
(20 秒以上、電源切状態を保持して下さい)

### 注意

リモコンの LCD 表示が「IDLE」であっても、前面パネルの LAN/HDD/USB の各 LED が点滅中は内部で処理を行っています。  
この状態で電源を切るとデータ破壊、故障の恐れがあります。

下記手順を実施すれば、LED の点滅詳細など確認せずに安心して電源を切る事ができます。

リモコンの LCD 表示を「IDLE」にしてから、

1. リモコンの「メニュー」ボタンを押す。
2. メニューの「メンテナンス」を選択し、「決定」ボタンを押す。
3. 「シャットダウン」を選択し「決定」ボタンを押す。
4. 「実行」を選択し「決定」ボタンを押す。
5. ON/OFF LED 以外が消灯するまで待つ。
6. 30 秒たったら電源ボタンを押す。

### 注意

電源が入ったまま（特に書き込み中）USB メディアを抜くとデータが破壊され、そのデータが使えなくなることがあります。前項の手順で電源を切ってから取り出して下さい。

記録の前に以下の項目を設定してください。

## 入力信号の選択

S-VIDEO、VIDEO、HDTV、DVI、SDIの、どのビデオ信号を記録するかを選択します。(33 ページ)

1. IDLE 状態で「メニュー」ボタンを押す。
  2. 「映像入力選択」を選択し、決定ボタンを押す。
  3. 映像信号を選択し、「決定」ボタンを押す。
- 選択した信号が本機に入力されていない状態で記録操作をすると「映像入力がありません」が表示され、画像を記録することができません。

## 静止画画質の設定

EQ(高圧縮)、SQ(標準画質)、HQ(高画質)、TIFF(非圧縮＝最高画質)から、記録時の画質を選択します。(36 ページ)

1. IDLE 状態で「メニュー」ボタンを押す。
2. 「設定」を選択し、決定ボタンを押す。
3. 「静止画記録」を選択し、「決定」ボタンを押す。
4. 「記録画質」を選択し、「決定」ボタンを押す。
5. 画質を選択し、「決定」ボタンを押す。

## 動画画質の設定

EQ(高圧縮)、SQ(標準画質)、HQ(高画質)、XQ(最高画質)から動画記録時の画質を選択します。(37 ページ)

1. IDLE 状態で「メニュー」ボタンを押す。
2. 「設定」を選択し、決定ボタンを押す。
3. 「動画記録」を選択し、「決定」ボタンを押す。
4. 「記録画質」を選択し、「決定」ボタンを押す。
5. 画質を選択し、「決定」ボタンを押す。

## カードリーダー / バーコードリーダーの設定

患者情報を入力する為にカードリーダー / バーコードリーダー (オプション) を使用して操作量を軽減することができます。

使用する磁気カードやバーコードに応じた設定を行う必要があります。(44 ページ)

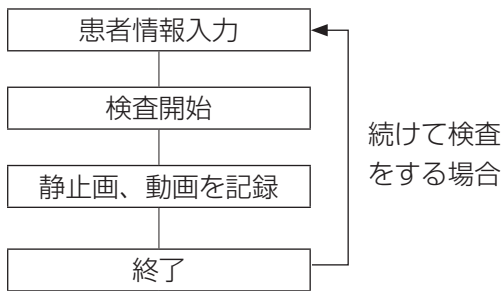
## USB メディアのフォーマット

本機で使用する USB メディアは、記録前に一度本機でフォーマットする必要があります。フォーマットすると USB メディアに記録されているデータがある場合は全て削除されます。

未フォーマットの USB メディアは使用することができません。(17 ページ)

# 記録する

リモコンを操作して、以下の手順で作業します。



## 患者情報入力

### 1 リモコンの表示が「IDLE」であることを確認する。

「IDLE」が表示されていないときは「終了」ボタンを押します。

### 2 かな / 英 / 数ボタンで ID 先頭文字の種類を選択します。

### 3 ID 先頭文字に対応する数字ボタンを押す。

「患者情報入力」画面が表示されます。  
必要な患者情報を入力してください。(48 ページ)

ID	123
患者名	
性別	
生年月日	
部位	

## 検査を開始する

「検査開始」ボタンを押して、検査を開始します。

- ID が入力されていない場合、仮 ID として「\$ 年月日時分秒」の ID が使用されます。

例 2019 年 01 月 23 日 14 時 25 分 40 秒の場合  
\$20190123142540

## 静止画を記録する

「静止画」ボタンを押すたびに同じ ID で連番が異なる画像が記録できます。連番は 1 から始まり 5000 までです。5000 枚以上記録出来ません。さらに記録する場合や異なる ID で記録したいときは「終了」ボタンを押して一度 IDLE 状態に戻り、ID を入力してください。

また、「動画記録中」でも「静止画」ボタンを押すと静止画を記録できます。

- 「外部トリガ」設定で外部接点に「静止画記録」を割り当てると、そのトリガにより静止画を記録することができます。(38 ページ)



## 動画を記録する

「録画・ポーズ」ボタンを押すと動画の記録を開始します。動画記録中に「停止」ボタンを押すと、動画の記録を停止します。

動画記録中に「録画・ポーズ」ボタンを押すと動画の記録を一時停止します。

- 本装置の動画記録は、内蔵 HDD 一時保管容量を効率良く確保する為、「記録領域確保」設定があります。ご使用の用途に応じて、設定してください。(37 ページ)
- 動画記録するには、「動画記録」で「動画記録有効」を ON にする必要があります。(37 ページ)
- 「外部トリガ設定」で外部接点に動画記録のスタート/ストップを割り当てると、そのトリガにより制御できます。(38 ページ)

⚠ 2 秒未満で停止ボタンを押しても動画は 2 秒間記録されます。

### 参考

- 同一 ID で記録できるのは 5000 枚までです。さらに記録する場合や異なる ID で記録したいときは「終了」ボタンを押して、一度 IDLE 状態に戻り、ID を入力してください。
- 内蔵 HDD 内の画像について  
内蔵 HDD 内は複数パーティションに分けて使われます。古いパーティションから順に消され、上書きされます。画像を一時的に保存するには USB メディアをご使用下さい。

## 検査を終了する

「終了」ボタンを押すと検査を終了し、「IDLE」状態になります。

この時点で前の患者情報はクリアされます。

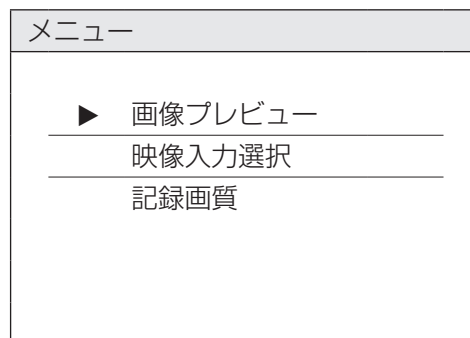
- 動画記録中に上記操作を行った場合、動画記録を停止して検査を終了します。

## 直前に撮った画像を見る

検査中に、直前にとった画像（同一 ID 内）を確認することができます。ID を入力して検査を開始してから 1 枚も記録していない場合は、ポップアップ警告が表示され、メニューは表示されません。

### 1 検査中に、「メニュー」ボタンを押す。

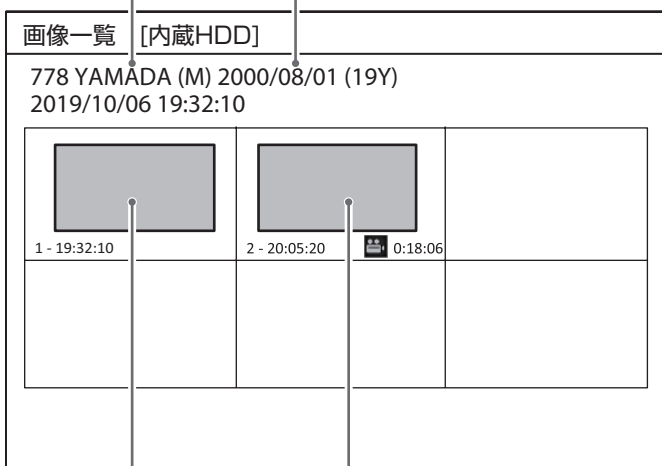
メニューが表示されます。



### 2 「録画プレビュー」を選択し、「決定」ボタンを押す。

「画像一覧」画面が表示されます。(サムネイル表示)

患者情報 検査日時



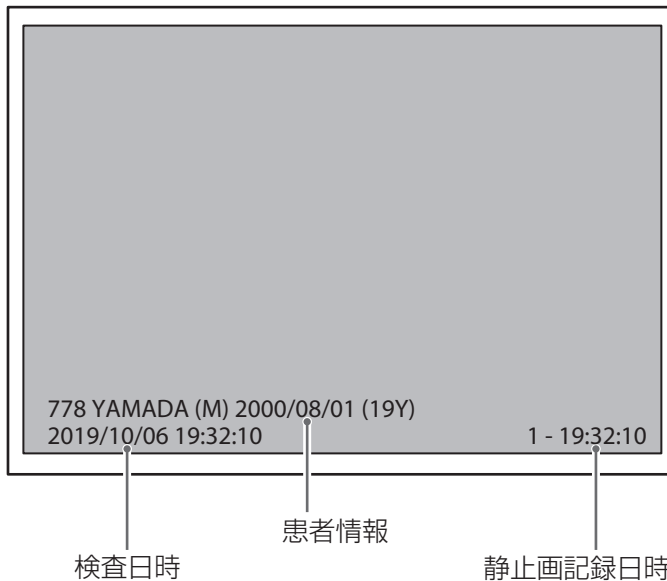
静止画

動画

## 記録する

### 3 表示したい画像を選択し、「決定」ボタンを押す。

全画面表示します。



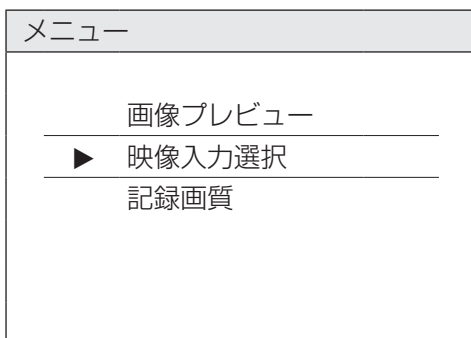
全画面再生状態から「戻る」ボタンで「画像一覧」画面に戻ります。

「画像一覧」画面で「戻る」ボタンを押すと検査に戻り、記録可能状態になります。

## 検査中にビデオ入力を切り換える

### 1 「メニュー」ボタンを押す。

メニューが表示されます。



### 2 「映像入力選択」を選択し、「決定」ボタンを押す。

「映像入力選択」画面が表示されます。

選択項目については 33 ページの「映像入力選択」「映像入力選択」を参照してください。

### 注意

- 検査中に切り換えられるのは、同じ解像度の入力のみです。
- 動画の記録中は映像信号の切り換えはできません。

## 記録画像の削除について

- 画像データ/記録データを削除することはできません。
- 一括削除はフォーマット機能をご使用下さい。

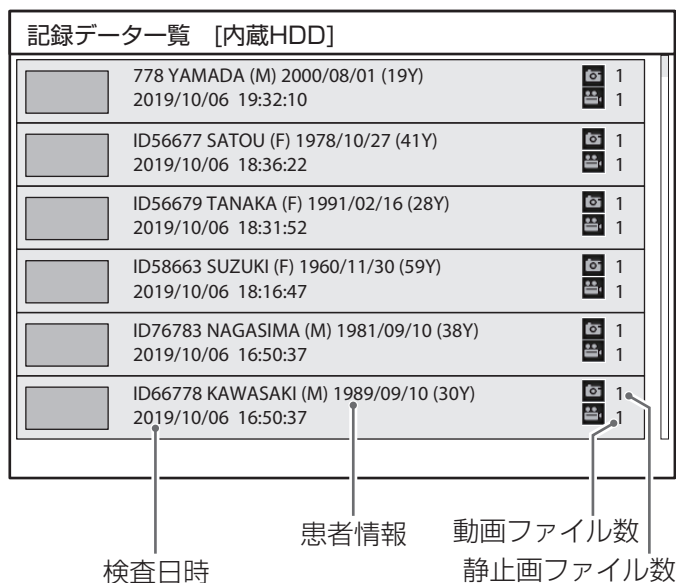
「IDLE」状態から「画像参照」ボタンを押すと、下記メニューが表示されます。



「内蔵 HDD 再生」を選択して、「決定」ボタンを押すと内蔵 HDD 内にある「記録データ一覧」画面が表示されます。

## 記録データ一覧

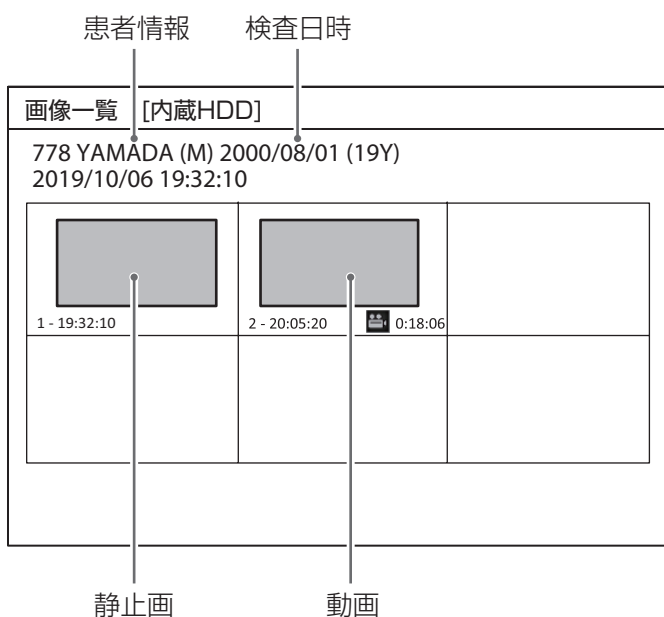
検査を行った記録データの一覧が最新順に表示されます。



記録データの先頭画像のサムネイルが左側に表示されます。

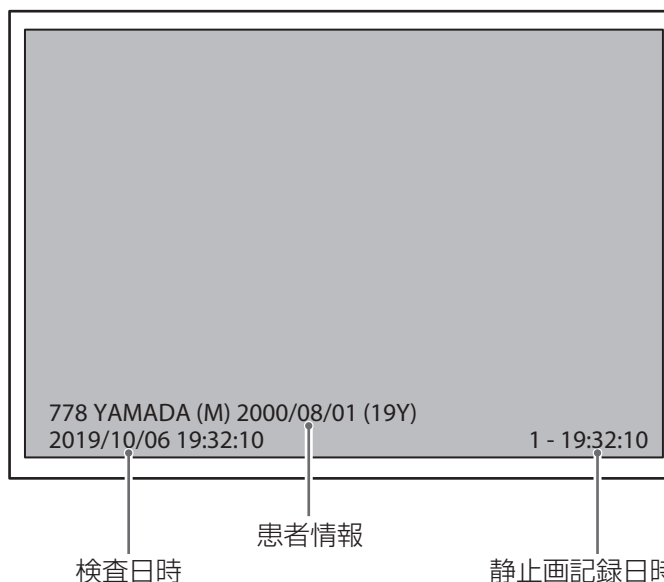
「▲」、「▼」ボタンで記録データの移動を行います。

「決定」ボタンを押すと「画像一覧」画面が表示されます。(サムネイル表示)



- 動画のサムネイルには、右下に動画アイコンが表示され、動画記録時間が表示されます。

「▲」、「▼」、「▶」、「◀」ボタンで画像を選択し、「決定」ボタンで全画面再生します。



- 「◀」、「▶」ボタンで記録データ内の画像が切り換わります。

## ID 検索

「記録データ一覧」画面を表示させて以下の操作をします。  
(23 ページ)

- 1 「メニュー」 ボタンを押す。
- 2 「ID 検索」 を選択し、「決定」 ボタンを押す。
- 3 検索する ID を入力する。

右上の ID 検索欄に入力された文字が表示されます。

- 先頭に「\*」を付けると後方一致検索を行います。
- 最後に「\*」を付けると前方一致検索を行います。
- 「\*」がない場合は完全一致検索を行います。

記録データ一覧 [内蔵HDD]		
	778 YAMADA (M) 2000/08/01 (19Y) 2019/10/06 19:32:10	1 1
	ID56677 SATOU (F) 1978/10/27 (41Y) 2019/10/06 18:36:22	1 1
	ID56679 TANAKA (F) 1991/02/16 (28Y) 2019/10/06 18:31:52	1 1
	ID58663 SUZUKI (F) 1960/11/30 (59Y) 2019/10/06 18:16:47	1 1
	ID76783 NAGASIMA (M) 1981/09/10 (38Y) 2019/10/06 16:50:37	1 1
	ID66778 KAWASAKI (M) 1989/09/10 (30Y) 2019/10/06 16:50:37	1 1

検査日時 患者情報 動画ファイル数 静止画ファイル数

- 4 「決定」 ボタンを押す。

検索条件に一致した記録データが表示されます。

記録データ一覧 [内蔵HDD]		
	ID56677 SATOU (F) 1978/10/27 (41Y) 2019/10/06 18:36:22	1 1
	ID56679 TANAKA (F) 1991/02/16 (28Y) 2019/10/06 18:31:52	1 1
	ID58663 SUZUKI (F) 1960/11/30 (59Y) 2019/10/06 18:16:47	1 1

- 5 「▲」、「▼」 ボタンで再生表示したい記録データを選択し、「決定」 ボタンを押す。

「画像一覧」画面が表示されます。(サムネイル表示)

- 「戻る」 ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

## 日付検索

「記録データ一覧」画面を表示させて以下の操作をします。  
(23 ページ)

- 1 「メニュー」 ボタンを押す。
- 2 「日付検索」 を選択し、「決定」 ボタンを押す。
- 3 検索する日付を入力する。

記録データ一覧 [内蔵HDD]		
	778 YAMADA (M) 2000/08/01 (19Y) 2019/10/06 19:32:10	1 1
	ID56677 SATOU (F) 1978/10/27 (41Y) 2019/10/06 18:36:22	1 1
	ID56679 TANAKA (F) 1991/02/16 (28Y) 2019/10/06 18:31:52	1 1
	ID58663 SUZUKI (F) 1960/11/30 (59Y) 2019/10/06 18:16:47	1 1
	ID76783 NAGASIMA (M) 1981/09/10 (38Y) 2019/10/06 16:50:37	1 1
	ID66778 KAWASAKI (M) 1989/09/10 (30Y) 2019/10/06 16:50:37	1 1

検査日時 患者情報 動画ファイル数 静止画ファイル数

- 4 「決定」 ボタンを押す。

検索条件に一致した記録データが表示されます。

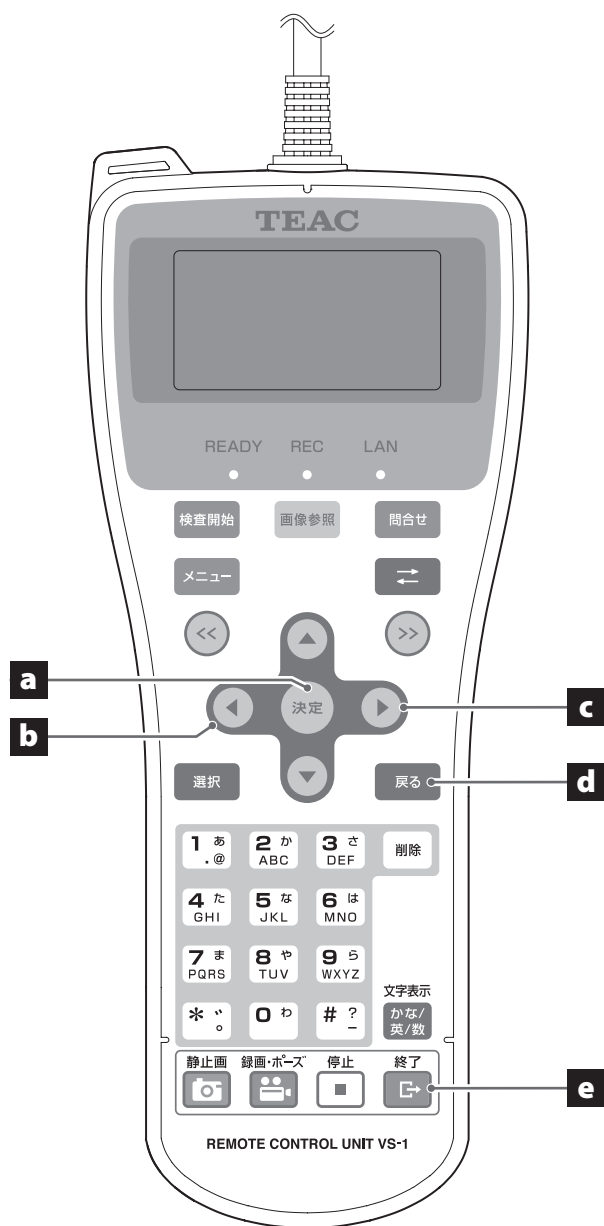
記録データ一覧 [内蔵HDD]		
	ID58663 SUZUKI (F) 1960/11/30 (59Y) 2019/10/06 18:16:47	1 1
	ID76783 NAGASIMA (M) 1981/09/10 (38Y) 2019/10/06 16:50:37	1 1
	ID66778 KAWASAKI (M) 1989/09/10 (30Y) 2019/10/06 16:50:37	1 1

- 5 「▲」、「▼」 ボタンで再生表示したい検査に移動させ、「決定」 ボタンを押す。

「画像一覧」画面が表示されます。(サムネイル表示)

## 動画再生中の操作

下記のリモコンボタンを使用して再生操作をします。



### a 決定ボタン

動画再生中に押すと一時停止します。  
一時停止中に押すと動画の続きを再生します。

### b ◀ ボタン

静止画再生中に押すと、前の画像に移動します。  
動画再生中に押すと、再生位置を約 10 秒戻します。

### c ▶ ボタン

静止画再生中に押すと、次の画像に移動します。  
動画再生中に押すと、再生位置を約 30 秒送ります。

### d 戻るボタン

再生を終了して一つ前の画面に戻ります。

### e 終了ボタン

「IDLE」状態になります。

## USB メディア再生

「IDLE」状態から「画像参照」ボタンを押すと、下記メニューが表示されます。



「USB1 再生」または「USB2 再生」を選択して、「決定」ボタンを押すと各 USB メディア内にある「記録データ一覧」画面が表示されます。

各メニューの操作は「内蔵 HDD 再生」と同様です。  
(23 ページ)

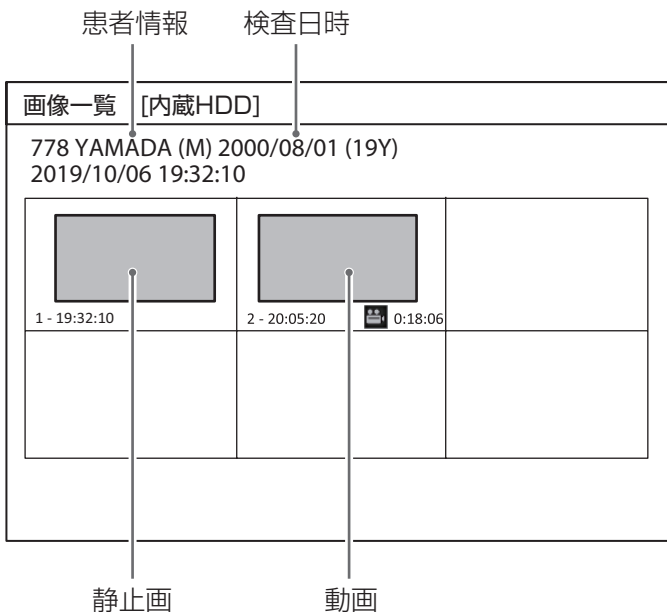
「内蔵 HDD 再生」の「記録データ一覧」を参照してください。

# 再生のときに便利な機能

## 患者情報を変更する

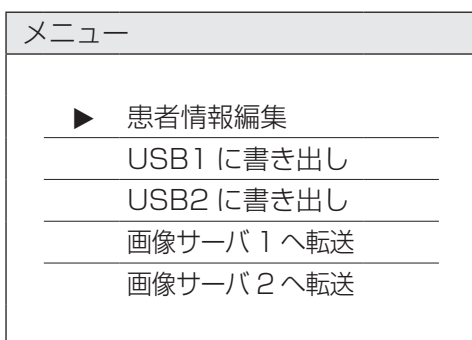
未設定の ID や患者名などの患者情報を変更することができます。

### 1 「画像一覧」画面で「メニュー」ボタンを押す。(23 ページ)



メニューが表示されます。

### 2 「患者情報編集」を選択し、「決定」ボタンを押す。



患者情報編集画面が表示されます。

### 3 患者情報を変更し、「決定」ボタンを押す。

ID	ID56677
患者名	SATOU
性別	
生年月日	
部位	

- 「<<」ボタンで入力されている文字を削除します。
- 「決定」ボタンで変更を有効にします。
- 「戻る」ボタンでひとつ前の画面に戻ります。



## ネットワーク転送

記録データは、40 ページの「画像サーバ 1」/「画像サーバ 2」設定により、ネットワーク転送することができます。

ネットワーク転送には Windows ソフトウェア「M-Receive」が必要です。

「M-Receive」は下記ウェブサイトよりダウンロードできます。

<https://teacmv.jp/download/software.html>

## 記録データを転送 / コピーする

- 1 「記録データ一覧」画面で操作したい記録データを選択し、「メニュー」ボタンを押す。(23 ページ)

記録データ一覧 [内蔵HDD]			
	778 YAMADA (M) 2000/08/01 (19Y) 2019/10/06 19:32:10		1
	ID56677 SATOU (F) 1978/10/27 (41Y) 2019/10/06 18:36:22		1
	ID56679 TANAKA (F) 1991/02/16 (28Y) 2019/10/06 18:31:52		1
	ID58663 SUZUKI (F) 1960/11/30 (59Y) 2019/10/06 18:16:47		1
	ID76783 NAGASIMA (M) 1981/09/10 (38Y) 2019/10/06 16:50:37		1
	ID66778 KAWASAKI (M) 1989/09/10 (30Y) 2019/10/06 16:50:37		1

検査日時、患者情報、動画ファイル数、静止画ファイル数サブメニューが表示されます。

- 2 「USB1/2 に書き出し」/「画像サーバ 1/2 へ転送」を選択し、「決定」ボタンを押す。

メニュー	
ID 検索	
▶ 日付検索	
USB1 に書き出し	
USB2 に書き出し	
画像サーバ 1 へ転送	
画像サーバ 2 へ転送	

記録データの転送 / コピーが実行されます。終了すると、「記録データ一覧」画面に戻ります。

- 「戻る」ボタンでひとつ前の画面に戻ります。

### メモ

「画像サーバ 1 / 2」への転送が終了した場合、記録データ一覧に画像サーバ 1/2 の転送済マークがつきます。

### 注意

「画像サーバ 2 へ転送」は「画像サーバ 2」設定を行っていない場合は表示されません。

## 画像を転送 / コピーする

- 1 「画像一覧」画面で操作したい画像を選択し、「メニュー」ボタンを押す。(23 ページ)

患者情報 検査日時

画像一覧 [内蔵HDD]

778 YAMADA (M) 2000/08/01 (19Y)  
2019/10/06 19:32:10

1 - 19:32:10	2 - 20:05:20	0:18:06

静止画 動画

メニューが表示されます。

- 2 「USB1/2 に書き出し」/「画像サーバ 1/2 へ転送」を選択し、「決定」ボタンを押す。

メニュー	
患者情報編集	
▶ USB1 に書き出し	
USB2 に書き出し	
画像サーバ 1 へ転送	
画像サーバ 2 へ転送	

画像の転送 / コピーが実行されます。終了すると、「画像一覧」に戻ります。

- 「戻る」ボタンでひとつ前の画面に戻ります。

# 画像参照

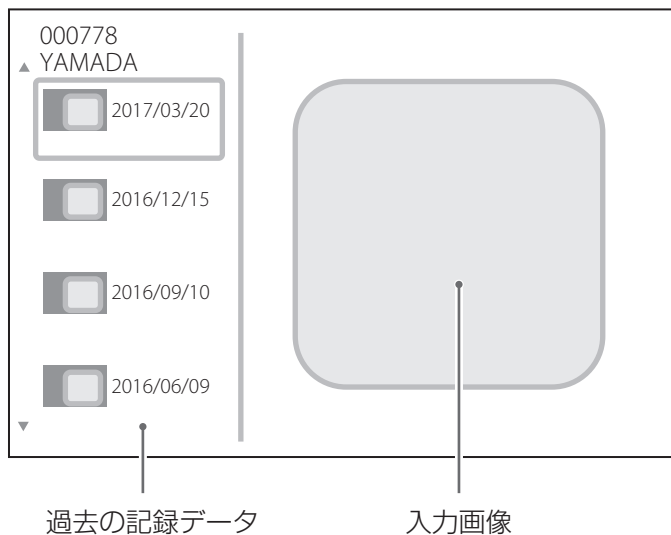
検査を開始したあとに過去の画像を検索表示させ、現在の入力画像と比較できます。

- 検索対象は現在の検査と同じ ID です。
- 過去画像の検索場所（参照先）はあらかじめ設定してください。設定は、34 ページの「過去画像参照先」を参照してください。
- 画像参照の対象は、静止画のみで、動画は対象外です。

## 過去画像参照

### 1 「画像参照」 ボタンを押す。

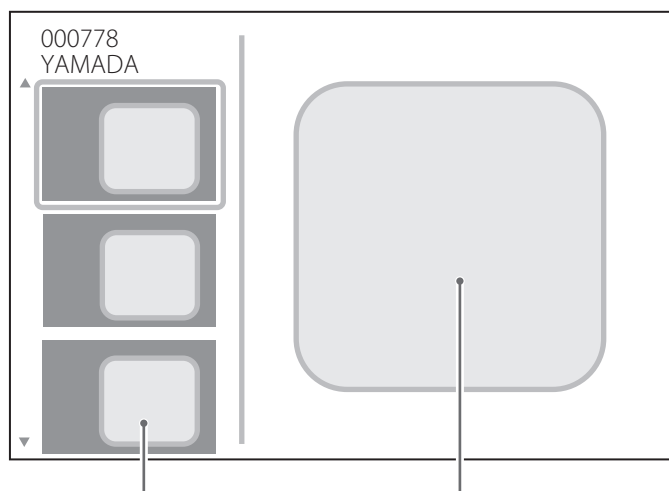
現在の検査と同じ ID の記録データ一覧を画面左側に表示します。



### 2 「▲」、「▼」 ボタンで表示させたい記録データ（日付）を選択する。

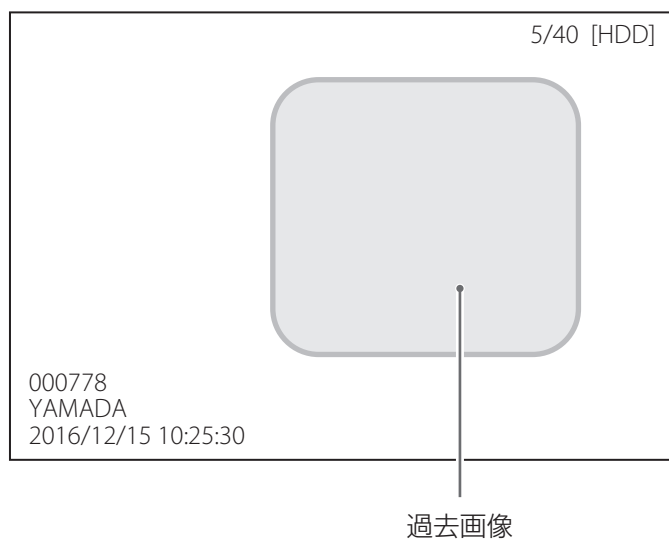
### 3 「決定」 ボタンを押す。

選択した日付の画像サムネイルを画面左側に表示します。



### 4 「▲」、「▼」 ボタンで画像を選択し、「決定」 ボタンを押す。

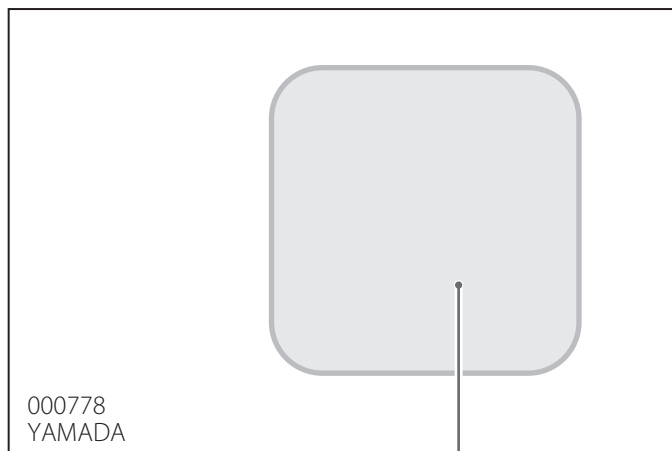
選択した画像が全画面表示になります。



「◀」 ボタンで前、「▶」 ボタンで次の過去画像を表示します。

## 過去画像と入力画像を切り換える

「決定」ボタンを押すごとに、入力画像表示と過去画像表示が切り換わります。



入力画像

# パソコンで画像を表示する

本機でUSBメディアをフォーマットすると「DVFinder」が書き込まれます。(8ページ)  
この「DVFinder」により、本機で記録したUSBメディアをパソコンに接続して検索することができます。

## 必要なシステム

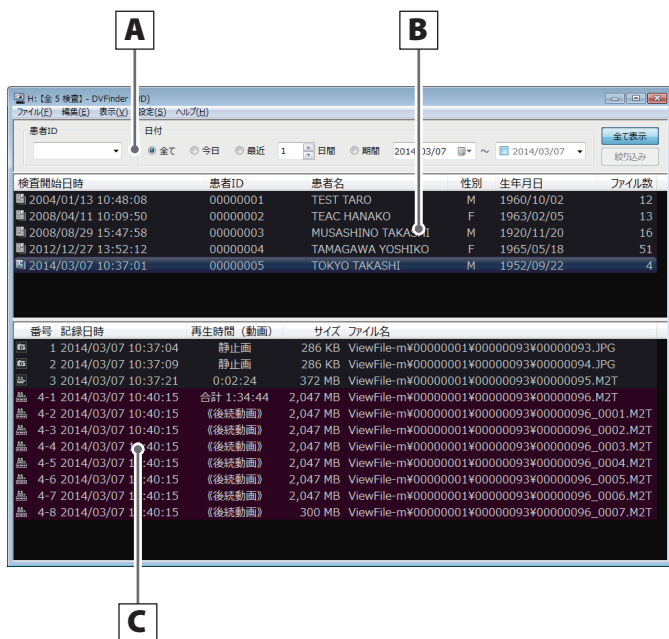
OS : Windows 7  
Windows 8  
Windows 10

メモリー : 2GB 以上

ディスプレイ : 解像度 1024×768 以上

## DVFinder を起動する

MV-1 で記録したUSBメディアをパソコンに接続します。  
メディアの中の、DVFinder.exe をダブルクリックすると、DVFinder が起動します。



### A 表示検査の絞り込み

ID と日付 (期間) の組み合わせにより、表示する検査 (記録データ) を絞り込むことができます。

### B 検査リスト

メディアに記録されている検査 (記録データ) の一覧を表示します。

検査 (記録データ) をダブルクリックすると、その検査 (記録データ) が保存されているフォルダをエクスプローラで開きます。

- フォルダー名 / ファイル名の変更や削除はしないでください。MV 本体や DVFinder で検査 (記録データ) を認識できなくなり、そのメディアは二度と使用できなくなってしまいます。

#### 検査リスト右クリックメニュー

検査フォルダを開く(F)  
名前を付けて保存(S)...

### C ファイルリスト

選択した検査 (記録データ) に含まれる静止画・動画の一覧を表示します。

アイコン表示



再生するには、右クリックメニューからアプリケーションを選択します。

関連付けられたアプリケーションで開く(O)  
アプリケーションを指定して開く(P)...

名前を付けて保存(S)...

分割動画を結合して保存(C)...

全て選択(A) Ctrl+A

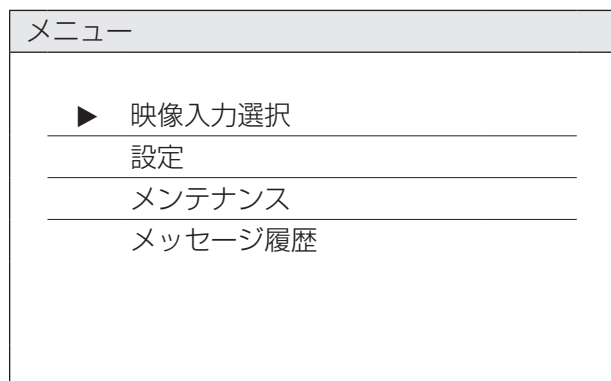
静止画をダブルクリックすると、システムで関連付けられているアプリケーションで開きます。  
動画をダブルクリックすると、「設定(S)」 - 「一般的な設定」 - 「動画を開くアプリケーション」で設定されているアプリケーションで開きます。

詳細は、「メニューバーのヘルプ→取扱説明書」を参照してください。

本機の設定はメニューから行います。

## 1 電源投入後、IDLE 状態で「メニュー」ボタンを押す。

モニター、リモコン LCD に設定項目が表示されます。

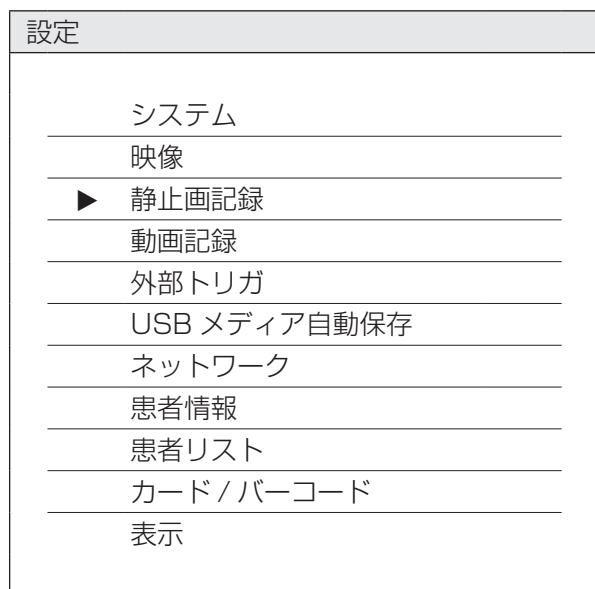


- 元の画面に戻るには、「戻る」ボタンを押します。

## 2 「▲」、「▼」ボタンで設定項目を選択し「決定」ボタンを押す。

サブメニューが表示されます。

例



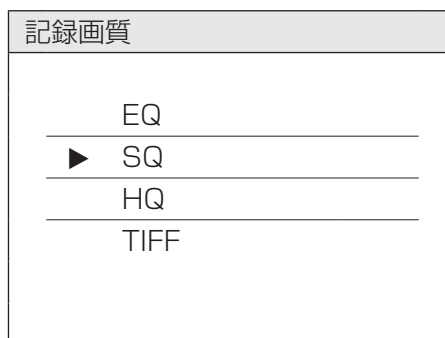
- 一つ前の画面に戻るには「戻る」ボタンを押します。

## 3 「▲」、「▼」ボタン設定項目を選択し「決定」ボタンを押す。

## 4 設定・選択メニューの設定値を選択又は数字を入力して「決定」ボタンを押して確定する。

設定を変更せずに前の画面に戻るには、「戻る」ボタンを押します。

例



## 5 「終了」ボタンを押すとメニュー画面を終了します。

# メニュー一覧

映像入力選択	33	画像サーバ1ポート	40
設定	34	画像サーバ2	40
システム	34	画像サーバ2転送	40
時刻設定	34	画像サーバ2IPアドレス	40
本体ブザー音量	34	画像サーバ2ポート	40
リモコンブザー	34	本機制御ポート	40
COM1通信モード	34	制御サーバIPアドレス	40
COM1通信ボーレート	34	制御サーバポート	40
過去画像参照先	34	NTPサーバIPアドレス	40
映像	35	接続タイムアウト	40
DVI色空間	35	通信タイムアウト	40
SDI色空間	35	ストリーミング配信	41
HD映像 → 1440×1080	35	ストリーミング配信	41
HD再生時ダウンコンバート	35	マルチキャストアドレス	41
1080i → 480i	35	患者情報	41
静止画記録	36	ID桁揃え	41
静止画記録画質	36	受付番号桁揃え	41
トリミング	36	入力画面表示項目	41
OSD埋め込み	36	ID	41
サムネイル表示	36	患者名	41
サムネイル位置	36	性別	42
サムネイル表示時間	36	生年月日	42
動画記録	37	患者コメント	42
動画記録有効	37	受付番号	42
動画記録画質	37	部位	42
動画記録領域確保	37	医師名	42
動画記録自動開始	37	入力画面初期フォーカス	42
アナログオーディオレベル	37	患者リスト	43
アイコン表示	37	実施済み患者リスト表示	43
アイコン位置	37	起動時患者リスト初期化	43
外部トリガ	38	リファレンスID	43
TRIGGER1(L)	38	リファレンスIDコピー先	43
TRIGGER1(R)	38	施設情報	43
TRIGGER2(L)	38	施設名(太字)	43
TRIGGER2(R)	38	ステーション名	43
USBメディア自動保存	39	カード/バーコード	44
USB1自動保存	39	ID読み取り範囲	44
USB2自動保存	39	患者名読み取り範囲	44
残り容量警告	39	性別読み取り範囲	44
ネットワーク	39	生年月日読み取り範囲	44
本機ネットワーク設定	39	患者コメント読み取り範囲	44
DHCP	39	リファレンスID読み取り範囲	44
本機IPアドレス	39	受付番号読み取り範囲	44
サブネットマスク	39	部位読み取り範囲	44
デフォルトゲートウェイ	39	IDから英数字以外を削除	44
機器名称	39	表示	45
画像サーバ1	40	電源投入後OSD表示	45
画像サーバ1転送	40	OSD患者情報	45
画像サーバ1IPアドレス	40	文字サイズ	45



## メニュー一覧

表示項目	45
上下左右余白	45
表示位置カスタマイズ	45
表示位置カスタマイズ有効	45
項目の個別カスタマイズ	45
水平位置	45
垂直位置	45
水平配置	45
メンテナンス	46
USB メディアフォーマット	46
システムアップデート	46
ログファイル書き出し	46
ログファイル書き出し期間	46
設定書き出し	46
設定読み込み	46
初期化	47
設定初期化	47
内蔵 HDD 初期化	47
完全初期化	47
シャットダウン	47
メッセージ履歴	47

- 各設定画面を開いた時に表示されている矢印の位置が現在の設定値です。

## 映像入力選択

映像入力信号を設定します。

初期値は「COMPOSITE」です。

COMPOSITE	: コンポジットビデオ
S-VIDEO	: S-VIDEO
RGB	: RGB4 線式ビデオ
HDTV	: 1080i RGB
DVI	: 1080i/1080p
	1280×1024 (60Hz)
	1024×768 (60Hz)
	1920×1200 (60Hz)
SDI	: 1080p/1080i/720p/480i

- 標準ビデオ入力 (COMPOSITE/S-VIDEO/SD-SDI)  
動画 : 720×480 29.97fps で記録します。  
静止画 : 640×480 サイズで記録します。
- 高精細ビデオ入力 (HDTV/DVI/HD-SDI/3G-SDI)  
動画 : 入力映像信号の解像度に関わらず、1920×1080 で記録します。  
プログレッシブ信号は 59.94fps、インターレース信号は 29.97fps で記録します。  
静止画 : 信号解像度サイズで記録します。

# 設定

## システム

### 時刻設定

内蔵の時計を設定します。

数字ボタンで日時を入力します。

「決定」ボタンを押すと時計が動き出します。時報などに合わせて「決定」ボタンを押してください。

- 本機には内蔵時計を動かすための電池が入っています。この電池の寿命は通常の通電使用状態で約 5 年です。電池が切れると正しい時刻が表示されません。電池の交換は、裏表紙に記載されている当社サービス部門にご用命ください。

### 本体ブザー音量

本体内蔵ブザーの音量を設定します。

初期値は「小」です。

OFF : 鳴らさない  
小 : 小さい音量  
中 : 中ぐらいの音量  
大 : 大きい音量

### リモコンブザー

リモコンブザーを設定します。

初期値は「入力ボタン以外は ON」です。

OFF : 鳴らさない  
ON : 鳴らす  
入力ボタン以外 ON : カーソル移動や患者情報入力では鳴らしません。

### COM1 通信モード

RS-232C 端子に機器を接続して通信する際のモードを設定します。

初期値は「MV-1」です。

MV-1	: MV-1 通信
COM-F-EPX	: COM-F-EPX 通信
COM-F-VP	: COM-F-VP 通信
COM-O-DF1(RECEIVE)	: COM-O-DF1 通信 (受信)
COM-O-DF1(SEND)	: COM-O-DF1 通信 (送信)
COM-O-DF1	: COM-O-DF1 通信
COM-O-DF2(RECEIVE)	: COM-O-DF2 通信 (受信)
COM-O-DF2(SEND)	: COM-O-DF2 通信 (送信)
COM-O-DF2	: COM-O-DF2 通信
COM-P	: COM-P 通信
COM-I	: COM-I 通信
COM-O-MCR	: COM-O-MCR 通信

### COM1 通信ボーレート

RS-232C 端子に機器を接続して通信する際のボーレートを設定します。

初期値は「9600」です。

- 設定は再起動後に有効になります。

1200	: 1200bps で通信
2400	: 2400bps で通信
4800	: 4800bps で通信
9600	: 9600bps で通信
19200	: 19200bps で通信
38400	: 38400bps で通信
57600	: 57600bps で通信

### 過去画像参照先

検査を開始した後に過去の画像を検索するための参照先を設定します。

初期値は「内蔵 HDD」です。

内蔵 HDD	: 内蔵 HDD を検索
USB1	: USB1 端子の USB メディアを検索
USB2	: USB2 端子の USB メディアを検索

## 映像

### DVI 色空間

DVI の表示色を変更する場合に設定します。

初期値は「0-255 (標準)」です。

- 0-255 (標準) : 色空間の範囲を 0-255 で表示  
16-255 : 色空間の範囲を 16-255 で表示

### SDI 色空間

SDI の表示色を変更する場合に設定します。

初期値は「16-235 (標準)」です。

- 16-235 (標準) : 色空間の範囲を 16-235 で表示  
16-255 : 色空間の範囲を 16-255 で表示

### HD 映像 → 1440×1080

高精細ビデオの静止画解像度と表示方法を設定します。

初期値は「OFF」です。

- OFF : 入力解像度で静止画記録 / 表示する  
ON : 高精細ビデオ (1920×1080) の中央部分 (4:3) の静止画記録 / 表示する

- 1080i → 480i が ON の場合は、HD 解像度で記録します。

### HD 再生時ダウンコンバート

HD 画像再生時に SD 系にも出力します。

初期値は「OFF」です。

- OFF : ダウンコンバート出力しない  
ON : ダウンコンバート出力する

- HD 再生時ダウンコンバートの対象は、静止画のみで、動画は対象外です。

### 1080i → 480i

DVI または SDI の映像信号が 1080i の場合、コンポジットまたは S-VIDEO から表示映像を出力します。

初期値は「OFF」です。

- OFF : 1080i から 480i に変換しない。(通常出力)  
ON : 1080i から 480i に変換し、コンポジットまたは S-VIDEO から出力する。

- 入力されている 1080i の映像信号を記録します。

#### 注意

- ON の場合は、DVI または SDI から不定な信号が、出力される場合があります。

### 静止画記録

#### 静止画記録画質

静止画の画質を設定します。  
初期値は「SQ」です。

- EQ : 容量節約画質
- SQ : 標準画質
- HQ : 高画質
- TIFF : 非圧縮

#### トリミング

静止画記録時に画像の自動切り出しを行います。  
初期値は「0,0,0,0」です。

- 設定よりも解像度が小さい場合は解像度に合わせます。

- 左位置 : 横方向の切り出し開始位置を指定します。
- 上位置 : 縦方向の切り出し開始位置を指定します。
- 幅 : 切り出す幅を指定します。
- 高さ : 切り出す高さを指定します。

#### OSD 埋め込み

静止画記録時に画像に OSD 情報を埋め込みます。  
初期値は「OFF」です。

- OSD 表示項目については「表示 - OSD 患者情報」を参照してください。

- OFF : OSD を埋め込まない
- ON : OSD を埋め込む

#### サムネイル表示

静止画記録時のアイコン表示を設定します。  
初期値は「アイコン」です。

- OFF : サムネイル表示を行わない
- アイコン : PHOTO アイコンを表示する
- 小 : 記録画像を小さいサイズで表示する
- 中 : 記録画像を中くらいのサイズで表示する
- 大 : 記録画像を大きいサイズで表示する

#### サムネイル位置

サムネイルの表示位置を設定します。  
初期値は「右上」です。

- 左上 : 画面の左上に表示する
- 右上 : 画面の右上に表示する
- 左下 : 画面の左下に表示する
- 右下 : 画面の右下に表示する

#### サムネイル表示時間

サムネイルの表示時間を設定します。  
初期値は「1 秒」です。

- 最大 10 秒まで設定できます。

## 動画記録

### 動画記録有効

動画記録の ON/OFF を設定します。

初期値は「OFF」です。

OFF : 動画を記録しない

ON : 動画を記録する

### 動画記録画質

動画の画質を設定します。

初期値は「SQ」です。

EQ : 容量節約画質

SQ : 標準画質

HQ : 高画質

XQ : 最高画質

### 動画記録領域確保

内蔵 HDD に 1 度に記録する時間容量 (目安) を確保する設定です。

指定時間で停止する機能ではありません。

また、内蔵 HDD を効率よく使用するためには、なるべく短い時間を指定してください。

1 時間単位で指定します。

動画記録時間が設定した時間を超えても可能な限り録画を継続しますが、以下の状態になると動画記録は自動停止します。

- 動画記録時間が 24 時間になる
- 内蔵 HDD の空き容量がなくなる

#### 注意

動画記録停止時に次の動画記録用に容量を確保します。

その時の内部状態により「ハードディスク準備中」と表示される事があります。

数秒お待ち下さい。

### 動画記録自動開始

静止画記録時と同時に動画記録について設定します。

初期値は「OFF」です。

OFF : 何もしない

ON : 記録モード移行時に動画記録も開始する

## アナログオーディオレベル

AUDIO IN 端子からの音声レベルを設定します。

初期値は「ライン」です。

ライン : ライン用の入力です。(オーディオ装置の出力など)

マイク : マイク用の入力です。

約 +20dB 増幅します。コンデンサーマイクを使用してください。

## アイコン表示

動画記録時のアイコン表示を設定します。

初期値は「ON」です。

OFF : アイコンを表示しない

ON : アイコンを表示する

## アイコン位置

アイコンの表示位置を設定します。

初期値は「右上」です。

左上 : 画面の左上に表示する

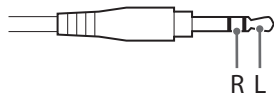
右上 : 画面の右上に表示する

左下 : 画面の左下に表示する

右下 : 画面の右下に表示する

### 外部トリガ

- 外部トリガ用ジャックはステレオミニジャックで、外部接点スイッチ等を接続します。



- TRIGGER1 は接点が2つあり、内部で Wired-OR 接続されています。  
片方を入力、もう片方をスルー出力として使用します。

#### 注意

- モノラルプラグを使用した場合、R 側の設定は OFF にしてください。
- 外部トリガ信号が1系統の時は、L/R の使用する接点のみ設定してください。(使用しない接点側は OFF にしてください)
- 同一端子で L/R 両方の設定をした場合、L/R どちらかの端子が常に GND に接続されていると正常に動作しません。

### TRIGGER1 (L)

TRIGGER1 の Lch 信号端子の動作を設定します。  
初期値は「OFF」です。

OFF	: 機能なし
静止画記録	: 静止画を1枚記録する
動画記録開始/一時停止	: 動画の記録開始、記録停止を順番に行う (一時停止中は開始、記録中は一時停止)
静止画記録 (マーク)	: 静止画を1枚記録する (画像一覧と再生時にマークが表示されます。)
動画記録停止	: 動画記録を停止自動保存する
動画記録維持 (一時停止)	: L レベルの間、動画を記録し、L レベル以外は一時的停止
動画記録維持 (停止)	: L レベルの間、動画を記録し、L レベル以外は一時的停止
動画記録開始/停止	: 動画の記録開始、記録停止を順番に行う (停止中は開始、記録中は停止)

### TRIGGER1 (R)

TRIGGER1 の Rch 信号端子の動作を設定します。  
初期値は「OFF」です。

### TRIGGER2 (L)

TRIGGER2 の Lch 信号端子の動作を設定します。  
初期値は「OFF」です。

### TRIGGER2 (R)

TRIGGER2 の Rch 信号端子の動作を設定します。  
この設定のみ「記録中出力」項目が追加されます。  
初期値は「OFF」です。

記録中出力: 外部に LED を接続することにより、記録中に LED を点灯させる事ができます。

## USB メディア自動保存

USB メディアへ自動コピーについて設定します。

### 注意

- USB メディアには、十分な空き容量がある事を確認して下さい。
- 動画は一定間隔で区切ってコピーします。動画記録中に空き容量が無くなった場合は、その前までのデータがコピーされます。この動画はコピーが完了されていませので、新メディアが接続されたら、動画の最初から再度コピーを実施します。

## USB1 自動保存

初期値は「自動保存しない」です。

自動保存しない：USB1 に自動保存しない  
 静止画と動画：静止画と動画を自動保存する  
 静止画のみ：静止画のみ自動保存する  
 動画のみ：動画のみ自動保存する

## USB2 自動保存

初期値は「自動保存しない」です。

## 残り容量警告

容量警告（使用量）の設定を行います。  
 USB メディアを使用している場合、使用量が設定した容量以上になると、ブザーとメッセージで警告を出す事ができます。

容量警告（使用量）を % で指定します。  
 0 を指定すると、警告無しになります。

- 警告はリモコンのボタンを押すまで続きます。

## ネットワーク

### 本機ネットワーク設定

ネットワーク設定は画像をネットワーク転送するために必要な設定です。  
 この設定が済むまでネットワークに接続しないでください。

- ネットワークの設定、接続については接続するネットワーク管理者の指示に従ってください。

### DHCP

本機の IP アドレスを手動で設定するか自動取得にするかの設定をします。

初期値は「OFF」です。

OFF：IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの項目を設定し固定でネットワークアドレスを割り当てます。

ON：自動でネットワークアドレスを取得します。  
 DHCP サーバが必要になります。  
 この設定にして自動取得が成功すると、IP アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイの各設定に取得した値が表示されます。取得に失敗した場合、各項目が「0.0.0.0」表示になります。

### 本機 IP アドレス

本機の IP アドレスを入力します。  
 初期値は「192.168.0.101」です。  
 DHCP 設定が ON の場合は入力できません。

### サブネットマスク

本機のサブネットマスクを入力します。  
 初期値は「255.255.255.0」です。  
 DHCP 設定が ON の場合は入力できません。

### デフォルトゲートウェイ

本機のデフォルトゲートウェイを入力します。  
 初期値は「0.0.0.0」です。  
 DHCP 設定が ON の場合は入力できません。

### 機器名称

ネットワーク転送で使われる本機の名前を設定します。  
 初期値は「MVO001」です。

### 画像サーバ 1

画像サーバ 1 について設定します。

#### 画像サーバ 1 転送

画像サーバ 1 への自動転送について設定します。

- 内蔵 HDD のデータをネットワーク転送します。
- 本機能設定後に収録した記録データが転送の対象になります。

OFF 設定時に記録データを転送したい場合は、手動転送してください。

初期値は「自動転送しない」です。

自動転送しない：自動転送を行わない  
静止画と動画：静止画と動画を転送する  
静止画のみ：静止画のみ転送する  
動画のみ：動画のみ転送する

#### 画像サーバ 1 IP アドレス

画像サーバ 1 の IP アドレスを入力します。

初期値は「192.168.0.151」です。

#### 画像サーバ 1 ポート

画像サーバ 1 のポート番号を入力します。

初期値は「10050」です。

### 画像サーバ 2

画像サーバ 2 について設定します。

#### 画像サーバ 2 転送

画像サーバ 2 への自動転送について設定します。

- 内蔵 HDD のデータをネットワーク転送します。
- 本機能設定後に収録した記録データが転送の対象になります。

OFF 設定時での記録データを転送したい場合は、手動転送してください。

初期値は「自動転送しない」です。

自動転送しない：自動転送を行わない  
静止画と動画：静止画と動画を転送する  
静止画のみ：静止画のみ転送する  
動画のみ：動画のみ転送する

#### 画像サーバ 2 IP アドレス

画像サーバ 2 の IP アドレスを入力します。

初期値は「0.0.0.0」です。

#### 画像サーバ 2 ポート

画像サーバ 2 のポート番号を入力します。

初期値は「10050」です。

#### 本機制御ポート

本機を LAN 制御する為のポート番号を入力します。

初期値は「10050」です。

#### 制御サーバ IP アドレス

制御サーバの IP アドレスを入力します。

初期値は「192.168.0.151」です。

#### 制御サーバポート

制御サーバのポート番号を入力します。

初期値は「10051」です。

#### NTP サーバ IP アドレス

NTP サーバの IP アドレスを入力します。

初期値は「0.0.0.0」です。

- 「0.0.0.0」場合は NTP による時刻合わせを行いません。

#### 接続タイムアウト

各サーバへの接続タイムアウトを設定します。

初期値は「10 秒」です。

- 1 秒から 60 秒まで設定できます。

#### 通信タイムアウト

各サーバへの通信タイムアウトを設定します。

初期値は「20 秒」です。

- 1 秒から 60 秒まで設定できます。



## ストリーミング配信

本機能は、ストリーミング配信の設定が「ON」の場合、記載されているマルチキャストアドレスを使って、ストリーミング配信を行います。動画記録開始時に配信開始し、記録停止時に配信停止をします。また、動画記録中の一時停止時は、配信停止しません（配信続きます）。配信時のビットレートは記録時と同じ値を使用します。

配信された動画を視聴するツールは RTP に対応したストリーミングプレイヤーをご使用下さい。

## ストリーミング配信

本機がストリーミング配信をするかの設定をします。初期値は「OFF」です。配信する場合は「ON」にします。

## マルチキャストアドレス

本機がストリーミング配信に使用するマルチキャストアドレスを設定します。

本機で設定できるマルチキャストアドレスは“239.1.1.1～239.1.1.254”になります。

### 注意

- ストリーミング配信を使用される際は、ストリーミング配信の画像乱れが起きる場合がありますので、MV 転送の“自動転送はしない”運用を推奨致します。また、過度な静止画連続撮影でも同様の症状が起きる場合があります。
- 配信は、RTP/UDP プロトコルで行われるため、ネットワーク回線の混み具合や受信側パフォーマンス等で配信パケットロスによる動画コマ落ちが生じることがあります。
- 配信は有線みのネットワークを対象とし、ルータを越えるマルチキャストアドレス配信はできません。またタブレット端末での視聴も非対応になります。
- 記録した画質よりも再生側の画質がよくない場合は、再生側の問題になります（本機の問題ではありません）。
- マルチキャストアドレスを使用するため、同一ネットワーク上にある PC 全てにトラフィックが発生するので、運用時には注意をお願い致します。
- ストリーミング配信のポート番号は“23456”の固定番号になります。  
アドレス入力例：rtp://239.1.1.1:23456

## 患者情報

### ID 桁揃え

入力された ID の桁数を合わせる機能を設定します。初期値は「0」です。

指定桁に満たない場合、指定桁まで上位桁側に 0 を付加します。

指定桁以上の ID が入力された場合は機能しません。

例) 10 を設定した場合

ID 入力 12345 → 0000012345

### 受付番号桁揃え

入力された受付番号の桁数を合わせる機能を設定します。

初期値は「0」です。

指定桁に満たない場合、指定桁まで上位桁側に 0 を付加します。

指定桁以上の ID が入力された場合は機能しません。

例) 10 を設定した場合

ID 入力 12345 → 0000012345

### 入力画面表示項目

患者情報入力画面 (20 ページ) で表示する項目について設定します。

### ID

初期値は「ON」です。

OFF : 表示しない

ON : 表示する

### 患者名

初期値は「ON」です。

OFF : 表示しない

ON : 表示する

## 設定

---

### 性別

初期値は「ON」です。

OFF : 表示しない  
ON : 表示する

### 生年月日

初期値は「ON」です。

OFF : 表示しない  
ON : 表示する

### 患者コメント

初期値は「OFF」です。

OFF : 表示しない  
ON : 表示する

### 受付番号

初期値は「OFF」です。

OFF : 表示しない  
ON : 表示する

### 部位

初期値は「OFF」です。

OFF : 表示しない  
ON : 表示する

### 医師名

初期値は「OFF」です。

OFF : 表示しない  
ON : 表示する

### 入力画面初期フォーカス

患者情報入力画面(20ページ)を表示した時のフォーカス位置を指定します。

初期値は「最上段」です。

最上段 : 最上段に設定する  
ID : ID に設定する  
患者名 : 患者名に設定する  
性別 : 性別に設定する  
生年月日 : 生年月日に設定する  
患者コメント : 患者コメントに設定する  
受付番号 : 受付番号に設定する  
部位 : 部位に設定する  
医師名 : 医師名に設定する

## 患者リスト

本機能を使用するには専用の LAN 制御プログラムが必要です。

詳細はお問い合わせ下さい。

### 実施済み患者リスト表示

予約患者リスト表示する時に検査済みの ID 表示について設定します。

初期値は「マーク」です。

- マーク: マーク表示する
- 非表示: 表示から削除する

### 起動時患者リスト初期化

予約患者リストの初期化について設定します。

初期値は「OFF」です。

- OFF: 本機の起動時に患者リストを初期化しない
- ON: 本機の起動時に患者リストを初期化する

## リファレンス ID

### リファレンス ID 機能

リモコンからキーコード (リファレンス ID) を入力し、ネットワーク経由で該当患者の情報を取得する機能です。制御サーバが必要になります。

リファレンス ID 機能について設定します。

初期値は「OFF」です。

- OFF: 使用しない
- オンライン: 制御サーバへの問い合わせを行う
- オフライン: 内部データへの問い合わせを行う

### リファレンス ID コピー先

情報の取得に失敗した時にリファレンス ID を他の項目にコピーして使用するかを設定します。

- OFF: 使用しない
- ID: ID にコピーして使用する
- 受付番号: 受け付け番号にコピーして使用する

- ID と同一運用なら「ID」を選択します。

## 施設情報

施設情報について設定します。

### 施設名 (太字)

施設名を入力します。

初期値は空白です。

### ステーション名

ステーション名を入力します。

初期値は空白です。

### カード/バーコード

患者情報の入力にカードリーダー、バーコードリーダーを使用できます。

磁気カード、バーコードから読み取ったデータの文字範囲を設定します。

- 各設定画面でカード・バーコードを通すと読み取ったデータを表示します。

### ID 読み取り範囲

ID として読み取る開始位置と文字数を入力します。

初期値は 開始位置「0」、文字数「0」です。

- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 文字数を「0」にすると読み取りません。

### 患者名読み取り範囲

患者名として読み取る開始位置と文字数を入力します。

初期値は 開始位置「0」、文字数「0」です。

- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 文字数を「0」にすると読み取りません。

### 性別読み取り範囲

性別として読み取る位置を入力します。

初期値は「0」です。

- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 「0」にすると性別は読み取りません。

### 生年月日読み取り範囲

生年月日として読み取る開始位置と文字数を入力します。

初期値は 開始位置「0」、文字数「0」です。

- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 文字数を「0」にすると読み取りません。

### 患者コメント読み取り範囲

患者コメントとして読み取る開始位置と文字数を入力します。

初期値は開始位置「0」、文字数「0」です。

- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 文字数を「0」にすると読み取りません。

### リファレンス ID 読み取り範囲

リファレンス ID として読み取る開始位置と文字数を入力します。

初期値は 開始位置「0」、文字数「0」です。

- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 文字数を「0」にすると読み取りません。

### 受付番号読み取り範囲

受付番号として読み取る開始位置と文字数を入力します。

初期値は開始位置「0」、文字数「0」です。

- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 文字数を「0」にすると読み取りません。

### 部位読み取り範囲

部位として読み取る開始位置と文字数を入力します。

初期値は開始位置「0」、文字数「0」です。

- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 文字数を「0」にすると読み取りません。

### ID から英数字以外を削除

ID に英数字以外の文字が含まれている場合に、削除するか設定します。

初期値は OFF です。

OFF：ID から英数字以外を削除しません。

ON：ID から英数字以外を削除します。

## 表示

### 電源投入後 OSD 表示

本機の起動時の OSD (ID / 名前 / 性別 / 生年月日 / 部位) の表示について設定します。

初期値は「ON」です。

OFF : OSD を表示しない  
ON : OSD を表示する

- 運用中の切り換えは、リモコンの「文字」ボタンを長押しすることでも可能です。

### OSD 患者情報

この項目を設定すると、OSD 表示をカスタマイズすることができます。

### 文字サイズ

文字サイズを設定します。

初期値は「中」です。

小 : 小さい文字で表示する  
中 : 中くらいの文字で表示する  
大 : 大きい文字で表示する

### 表示項目

OSD として表示する項目を設定します。

初期値は「ON」です。

次の項目について設定できます。

ID、患者名、性別、生年月日、年齢、患者コメント、日時、受付番号、部位、医師名、記録数、動画長さ

OFF : 項目を表示しない  
ON : 項目を表示する

### 上下左右余白

画面全体に対する OSD 表示部分の余白 (表示しないエリア) を設定します。

- 表示位置カスタマイズが「OFF」の時に有効になります。
- 0% ~ 80% まで設定できます。

初期値は「1%」です。

### 表示位置カスタマイズ

この項目を設定すると、表示位置のカスタマイズをすることができます。

#### 表示位置カスタマイズ有効

「ON」にすると、表示位置を個別に設定することができます。

初期値は「OFF」です。

OFF : 表示位置をカスタマイズしない  
ON : 表示位置をカスタマイズする

#### 項目の個別カスタマイズ

以下の項目をカスタマイズ表示することができます。

初期値	水平位置	垂直表示	水平配置
ID	5%	85%	左寄せ
患者名	5%	89%	左寄せ
性別	25%	85%	左寄せ
生年月日	10%	85%	右寄せ
年齢	5%	85%	右寄せ
患者コメント	20%	85%	左寄せ
日時	5%	2%	左寄せ
受付番号	5%	81%	左寄せ
部位	5%	93%	左寄せ
医師名	20%	93%	左寄せ
記録数	5%	93%	右寄せ
動画長さ	5%	89%	右寄せ

#### 水平位置

画面に対する横の表示位置を % で指定します。

- 0% ~ 95% まで指定できます。

#### 垂直位置

画面に対する縦の表示位置を % で指定します。

- 0% ~ 95% まで指定できます。

#### 水平配置

項目の表示開始位置を設定します。

左寄せ : 画面の左端を開始位置に設定する  
右寄せ : 画面の右端を開始位置に設定する

# メンテナンス

## USB メディアフォーマット

本機に接続されている USB メディアをフォーマット (初期化) します。

USB1 フォーマット : USB1 メディアをフォーマット (初期化) します。

USB2 フォーマット : USB2 メディアをフォーマット (初期化) します。

## システムアップデート

本機に搭載している FW のアップデートを行います。

- 1** 本機でフォーマットした USB メディアの「Viewfile-m system」フォルダーに FW アップデートファイルをコピーする。
- 2** USB メディアを接続する。
- 3** システムアップデートを選択し、決定を押す。
- 4** アップデートするバージョンを選択し、決定を押す。  
アップデートが行われます。
  - アップデート中は本機の電源を OFF にしないでください。
- 5** 「本機の電源を入れ直してください。」と表示されたら電源を OFF にし、再度電源を ON にする。

## ログファイル書き出し

本機のログファイルを USB メディアに書き出します。

キャンセル : 何もしません。

USB1 : USB1 メディアにログファイルを書き出します。  
書き出しが終了すると一つ前の画面に戻ります。

USB2 : USB2 メディアにログファイルを書き出します。  
書き出しが終了すると一つ前の画面に戻ります。

## ログファイル書き出し期間

ログファイルを書き出す期間を設定します。  
初期値は「1ヶ月」です。

本日 : 当日のログファイル

1週間 : 1週間前までのログファイル

1ヶ月 : 1ヶ月前までのログファイル

1年 : 1年前までのログファイル

全て : すべてのログファイル

## 設定書き出し

本機の設定を USB メディアに書き出します。  
「設定読み込み」機能を使用して、別の装置に反映させることができます。

キャンセル : 何もしません。

USB1 : USB1 メディアに設定を書き出します。  
書き出しが終了すると一つ前の画面に戻ります。

USB2 : USB2 メディアに設定を書き出します。  
書き出しが終了すると一つ前の画面に戻ります。

## 設定読み込み

本機の設定を USB メディアから読み込みます。

キャンセル : 何もしません。

USB1 : USB1 メディアから設定を読み込みます。  
設定の読み込みが終了すると自動で再起動します。

USB2 : USB2 メディアから設定を読み込みます。  
設定の読み込みが終了すると自動で再起動します。

### 初期化

本機の初期化を行います。

### 設定初期化

本機の設定を初期化します。

キャンセル：何もしません。

実行：設定の初期化を行います。

- 初期化が終了すると自動的に再起動します。

### 内蔵 HDD 初期化

本機の内蔵 HDD を初期化します。

キャンセル：何もしません。

実行：内蔵 HDD の初期化を行います。

- 初期化が終了すると自動的に再起動します。

### 完全初期化

本機の設定と内蔵 HDD を初期化します。

キャンセル：何もしません。

実行：設定と内蔵 HDD の初期化を行います。

- 完全初期化を行うと、全ての画像が無くなります。
- 初期化が終了すると自動的に再起動します。

### シャットダウン

本機のシャットダウンを行います。(18 ページ)

キャンセル：何もしません。

実行：本機をシャットダウンします。

メッセージ履歴を選択し、決定ボタンを押すと本機に表示された最新 30 個の警告を表示します。

例)

⚠ 2019/10/1 11:50:01

映像入力がありません。

⚠ 2019/9/30 18:32:54

USB メディアが接続されていません。

# 文字入力

## 文字の種類を選択する

リモコンの「かな / 英 / 数」 ボタンを押す毎に



の順で変わります。

入力する文字の種類は LCD の左下に表示されます。

IDLE	MV-1
数	USB1 10%

LCD の表示は

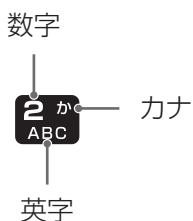


の順で変わります。

## 文字の入力

リモコンの数字ボタンを使用して文字を入力します。  
あらかじめ入力する文字の種類を選択し、目的の文字が表示されるまで数字ボタンを押してください。

例) 数字ボタン「2」を押して入力できる文字



種類	入力できる文字
数字	2
英字	A、B、C、a、b、c
カナ	か、き、く、け、こ

例) ID に 001122、患者名に「マツタ」と入力する。

### 1 IDLE 画面から「数字」ボタンで「001122」と入力する。

患者情報入力画面が表示されます。(20 ページ)

### 2 「かな / 英 / 数」 ボタンを 2 回押し、カナ入力にする。

リモコン右下の表示が「カ」になります。

### 3 「▼」 ボタンを押して選択位置を 2 行目に移動する。

### 4 「7(ま)」 ボタンを 1 回押す。

入力欄の表示：マ

### 5 「4(た)」 ボタンを 3 回押す。

入力欄の表示：マツ

### 6 「▶」 ボタンを 1 回押す。

### 7 「4(た)」 ボタンを 1 回押す。

入力欄の表示：マツタ

### 8 「\* ( ` )」 ボタンを 1 回押す。

入力欄の表示：マツタ`

- 「削除」 ボタンを押すと 1 文字消去します。



## エラーメッセージ一覧

表示	内容	対処・詳細
内蔵ハードディスクエラー	内蔵ハードディスクへのアクセスでエラーが発生しました。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
内蔵ハードディスクの準備中です。	内蔵ハードディスクの準備を行っています。	内蔵ハードディスクの準備には数分かかります。準備完了後に操作してください。
他のディスクをフォーマット中です。	内蔵 HDD または USB メディアをフォーマット中です。	フォーマットには数分かかります。フォーマット完了後に操作してください。
設定ファイルの書き込みに失敗しました。	設定ファイルの保存に失敗しました。	USB メディアに対する操作の場合、USB メディアを正常なものと交換してください。交換しても同様のメッセージが表示される場合は故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
パスワードが間違っています。	パスワードが違います。	正しいパスワードを入力してください。
映像入力がありません。	映像信号が入力されていません。	映像入力・映像入力端子を確認してください。
映像入力の切り換え中です。	映像信号を切り換え中です。	映像信号の切り換えには数秒かかります。映像信号切り換え完了後に操作してください。
映像入力を切り換えました。	映像信号を自動で切り換えました。	映像信号切断等で映像信号を切り換えました。
ファイルの読み込みに失敗しました。	ファイルの読み込みで異常が発生しました。	USB メディアに対する操作の場合、USB メディアを正常なものと交換してください。交換しても同様のメッセージが表示される場合は故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
ファイルの書き込みに失敗しました。	ファイルの書き込みで異常が発生しました。	USB メディアに対する操作の場合、USB メディアを正常なものと交換してください。交換しても同様のメッセージが表示される場合は故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
ファイルのコピーに失敗しました。	ファイルのコピー中に異常が発生しました。	USB メディアに対する操作の場合、USB メディアを正常なものと交換してください。交換しても同様のメッセージが表示される場合は故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
コピー元ファイルが見つかりません。	指定したファイルが破損している可能性があります。	USB メディアに対する操作の場合、USB メディアを正常なものと交換してください。交換しても同様のメッセージが表示される場合は故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
内蔵ハードディスクの残り容量がありません。	内蔵ハードディスクに記録可能な空き容量がなくなりました。	必要なデータをバックアップ後、内蔵ハードディスクをフォーマットしてください。
内蔵ハードディスクに異常を検出しました。	内蔵ハードディスクの故障の可能性があります。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
内蔵ハードディスクのフォーマットに失敗しました。	内蔵ハードディスクの故障の可能性があります。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。

## エラーメッセージ一覧

表示	内容	対処・詳細
内蔵ハードディスクのフォーマットを中止しました。	内蔵ハードディスクフォーマットのキャンセル処理が発生しました。	内蔵ハードディスクのフォーマットがキャンセルされました。
記録データがありません。	記録データが一件もありません。	記録後に実行してください。
現在動画を記録中です。	動画記録中には実行できない操作です。	動画記録終了後に実行してください。
予約リスト表示中は記録できません。	予約リスト表示中には実行できない操作です。	予約リストを終了後に実行してください。
静止画の記録ができませんでした。	記録間隔が短すぎます。	記録間隔をあけてください。
静止画の記録に失敗しました。	記録中にエラーが発生しました。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
現在の状態では静止画の記録ができません。	他の作業を実行中で静止画記録を実行できません。	他の作業が完了後、またはアイドル移行後に実行してください。
動画の記録は無効です。	動画記録が無効になっています。	動画記録を有効にしてから実行してください。
動画の最大記録可能時間を超過しました。	記録時間が設定された最大時間に達したため、記録を停止しました。	継続して記録が必要な場合は、再度記録操作を行ってください。
動画の記録上限時間を超過しました。	記録時間が設定された最大時間に達したため、記録を停止しました。	継続して記録が必要な場合は、再度記録操作を行ってください。
動画の記録中にメニューを表示することはできません。	動画記録中には実行できない操作です。	動画記録を終了してから行ってください。
動画記録画質の変更に失敗しました。	動画記録画質の設定中に内部エラーが発生しました。	何度か操作を行ってください。
動画を再生できません。	動画ファイルが破損している可能性があります。	USB メディアに対する操作の場合、正常な USB メディアを使用してください。 ハードディスクに対する操作の場合には、修理センターにご相談ください。
現在の状態では動画の記録ができません。	他の作業を実行中で動画記録を実行できません。	他の作業が完了後、またはアイドル移行後に実行してください。
アップデートファイルが見つかりません。	アップデートファイルが見つかりませんでした。	USB メディアのアップデートファイルを確認してから操作してください。
アップデートファイルが不正です。	アップデートファイルが破損している可能性があります。	USB メディアのアップデートファイルを確認してから操作してください。
設定ファイルが見つかりません。	設定ファイルが見つかりませんでした。	USB メディアの設定ファイルを確認してから操作してください。
設定ファイルが不正です。	設定ファイルが破損している可能性があります。	USB メディアの設定ファイルを確認してから操作してください。
ネットワーク転送に失敗しました。	ネットワークへの転送処理でエラーが発生しました。	ネットワーク設定や、ネットワーク・ケーブル、ハブ、また、サーバの設定等が正しいか確認してください。
NTP サーバに接続できません。	NTPサーバへの接続でエラーが発生しました。	ネットワーク設定や、ネットワーク・ケーブル、ハブ、また、サーバの設定等が正しいか確認してください。
USB1 にメディアがありません。	USB メディアが挿入されていないか、認識されていません。	本機で初期化済みの正常な USB メディアを挿入してください。
USB2 にメディアがありません。	USB メディアが挿入されていないか、認識されていません。	本機で初期化済みの正常な USB メディアを挿入してください。

表示	内容	対処・詳細
USB1 の残り容量がありません。	USB メディアに記録可能な空き容量がなくなりました。	十分に空き容量のある新しいUSB メディアに交換してください。
USB2 の残り容量がありません。	USB メディアに記録可能な空き容量がなくなりました。	十分に空き容量のある新しいUSB メディアに交換してください。
USB1 の残り容量が少なくなりました。	USB メディアに記録可能な空き容量が警告容量になりました。	空き容量が無くなる前に十分に空き容量のある新しいUSB メディアに交換してください。
USB2 の残り容量が少なくなりました。	USB メディアに記録可能な空き容量が警告容量になりました。	空き容量が無くなる前に十分に空き容量のある新しいUSB メディアに交換してください。
USB1 には記録できません。	ライトプロテクトされているか、旧機種で記録されています。	ライトプロテクトを解除するか、本機で初期化済みの正常なUSB メディアを挿入してください。
USB2 には記録できません。	ライトプロテクトされているか、旧機種で記録されています。	ライトプロテクトを解除するか、本機で初期化済みの正常なUSB メディアを挿入してください。
USB1 は未フォーマットです。	USB メディアが本機で初期化されていません。	本機で初期化済みの正常なUSB メディアを挿入してください。
USB2 は未フォーマットです。	USB メディアが本機で初期化されていません。	本機で初期化済みの正常なUSB メディアを挿入してください。
USB1 は使用できません。	USB ポートに異常が発生しました。	USB メディアに対する操作の場合、USB メディアを正常なものと交換してください。交換しても同様のメッセージが表示される場合は故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
USB2 は使用できません。	USB ポートに異常が発生しました。	USB メディアに対する操作の場合、USB メディアを正常なものと交換してください。交換しても同様のメッセージが表示される場合は故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
USB1 のフォーマットに失敗しました。	USB メディアが破損している可能性があります。	USB メディアに対する操作の場合、正常なUSB メディアを使用してください。ハードディスクに対する操作の場合には、修理センターにご相談ください。
USB2 のフォーマットに失敗しました。	USB メディアが破損している可能性があります。	USB メディアに対する操作の場合、正常なUSB メディアを使用してください。ハードディスクに対する操作の場合には、修理センターにご相談ください。
書き込み中に USB1 の接続不良を検出しました。	USB メディアが破損している可能性があります。	USB メディアに対する操作の場合、正常なUSB メディアを使用してください。ハードディスクに対する操作の場合には、修理センターにご相談ください。
書き込み中に USB2 の接続不良を検出しました。	USB メディアが破損している可能性があります。	USB メディアに対する操作の場合、正常なUSB メディアを使用してください。ハードディスクに対する操作の場合には、修理センターにご相談ください。
USB1 の安全な取り外しに失敗しました。	USB メディアの取り外しに失敗しました。	安全な取り外し操作を行ってください。(18 ページ)

## エラーメッセージ一覧

表示	内容	対処・詳細
USB2 の安全な取り外しに失敗しました。	USB メディアの取り外しに失敗しました。	何度か操作を行ってください。
他のホストと IP アドレスが重複しています。	設定された IP アドレスが他の機器で使用されています。	本機、もしくは他の機器の IP アドレスを変更し、同じアドレスを使用しないようにしてください。
ネットワーク設定の変更に失敗しました。	ネットワーク処理でエラーが発生しました。	ネットワーク設定や、ネットワーク・ケーブル、ハブ、また、サーバの設定等が正しいか確認してください。
不正な状態です。	他の作業を実行中で指定された項目の処理に失敗しました。	他の作業が完了後に実行してください。
ID 未入力	ID が未入力で記録を開始しました。	ID を入力してください。
ID が入力されていません。	ID が未入力で記録を開始しました。	ID を入力してください。
まだ記録が行われていません。	記録が行われていない状態での一覧表示操作が行われました。	記録が行われていない状態での一覧表示はできません。
範囲外の値が指定されています。	入力された値が、設定できる範囲ではありません。	設定範囲に含まれる値を指定してください。
不正な日時が指定されています。	入力された値が、設定できるものではありません。	設定できる値を指定してください。
入力文字の長さが範囲外です。	入力された値が、設定できる範囲ではありません。	設定範囲に含まれる値を指定してください。
IP アドレスが正しくありません。	入力された値が、設定できるものではありません。	設定できる値を指定してください。
システムエラー	故障の可能性があります。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
ハードウェアエラー	故障の可能性があります。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
CODEC ハードウェアエラー	故障の可能性があります。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
ストリーミング配信の IP アドレスが正しくありません。	入力された値が、設定できるものではありません。	239.1.1.1 ~ 239.1.1.254 の値を設定してください。

## 点検のすすめ

毎日の使用前に点検を行ってください。故障の早期発見に役立ち、トラブルを未然に防ぎます。

### 点検項目

- 電源コードは正しく接続されていますか？
- 各種端子に正しく接続されていますか？

装置の機能保持、安全性の向上のために定期的に点検を受けることをおすすめします。定期点検を含む各種の保守点検・保守契約などについては、裏表紙に記載してある連絡先にご相談ください。

## 本体のクリーニング

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- トップカバーやパネル面が汚れた場合は、消毒用エタノールを少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。
- エアゾールクリーナーは使わないで下さい。装置内部に埃等が入る可能性があります。
- ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを痛めることがありますので避けてください。

## 故障かなと思ったら

つぎのような場合には修理をご依頼になる前に、もう一度チェックしてください。

### 電源が入らない

- ➔ 電源コードの接続を確認してください。(コンセントから抜けていないか、コンセントに正しく接続されているか)

### 電源は入るが画像が何も出ない

- ➔ 本体リアパネルの入力 / 出力端子に正しく接続されているか、使用しているケーブルが断線していないかを確認してください。  
入力選択が正しく設定されているか確認してください。

### 保証について

- 本装置の保証期間は、購入日から 1 年間です。
- 次のような場合には、保証期間中であっても有償修理となりますのであらかじめご了承ください。
  - (1) 誤使用による故障、又は損傷
  - (2) 弊社、又は弊社の指定のサービスマン以外による改造、及び修理による故障、又は損傷
  - (3) 納品後の落下、輸送などによる故障、又は損傷
  - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変による故障、又は損傷
  - (5) 電源、設備環境条件などの、本製品の使用条件を逸脱した外部要因による故障、又は損傷
  - (6) 弊社、及び弊社指定の代理店以外から購入された場合の故障、又は損傷
- 保証期間終了後のアフターサービスについては、有償にてお受け致しますので最寄りの弊社営業所またはティアック修理センターにご相談ください。
- 本装置を運用した結果、及びデータに基づく二次的な損害につきましては、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本装置で記録されたデータの、誤操作や突発的な事故などによる消去につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに關します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証をしめすものではありません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、又は、これらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

### 廃棄するときは

本製品ならびに付属品、消耗品等を廃棄する際は、それぞれの国、地域、自治体の規制に従って廃棄してください。



## 一般仕様

収録メディア	
内蔵 HDD	2.5inch HDD
USB メディア	USB メモリー /HDD
動作確認メディアは下記リンク、本機の仕様を参照	
	<a href="https://teacmv.jp/products/mv-1/spec.html">https://teacmv.jp/products/mv-1/spec.html</a>
制御	付属リモートコントロールユニット VS-1
動作姿勢	水平
電源	AC100V ±10% 50/60 Hz 1.43A
動作環境	
温度	5 ~ 40℃
湿度	30 ~ 80% RH (非結露)
最大湿球温度	29℃
気圧	750 ~ 1040hPa
保存環境	
温度	- 20 ~ 60℃
湿度	5 ~ 80% RH (非結露)
最大湿球温度	29℃
気圧	600 ~ 1040hPa
輸送環境	
温度	- 30 ~ 60℃
湿度	5 ~ 90% RH (非結露)
最大湿球温度	29℃
気圧	600 ~ 1040hPa
外形寸法	
本体	202W×114H×337D (mm) [突起物除く]
リモコン	77W ×18H×190D (mm) [突起物除く]
質量	
本体	約 3.6 kg
リモコン	約 200 g
規格	
安全規格	電気用品安全法

## インターフェース

RS-232C (1 個)	D-SUB 9 ピン
LAN (1 個)	100Base-TX/1000Base-T (RJ45)
前面 USB(2 個)	USB3.0
背面 USB(4 個)	USB2.0
REMOTE 接点スイッチ (3 個)	
	ステレオミニジャック

## ビデオ仕様

映像 / 音声入力信号	
NTSC	
VIDEO	1.0 Vpp 75Ω 終端
S-VIDEO	
輝度信号	1.0 Vpp 75Ω 終端
色信号	0.286 Vpp 75Ω 終端
RGB	
映像信号	0.7 Vpp 75Ω 終端
同期信号	0.3 Vpp ~ 4 Vpp 75Ω 終端 (負極性)
SD-SDI	
高解像度映像	
HDTV	
映像信号	0.7 Vpp 75 Ω 終端
同期信号	三値 ±0.3 Vpp 75 Ω 終端
DVI-D	
3G/HD-SDI	
音声	
RCA	
ライン	.6dBVmax 10kΩ 以上 不平衡
マイク	- 14dBVmax (+20dB ゲイン) 10kΩ 以上 不平衡 (マイク) プラグインパワーコンデンサーマイク用
映像 / 音声出力信号	
NTSC	
VIDEO	1.0 Vpp 75Ω 終端
S-VIDEO	
輝度信号	1.0 Vpp 75Ω 終端
色信号	0.286 Vpp 75Ω 終端
RGB	
映像信号	0.7 Vpp 75 Ω 終端
同期信号	4 Vpp 75Ω 終端 (負極性)
SD-SDI	

## 仕様

### 高解像度映像

#### HDTV

映像信号 . . . . . 0.7 Vpp 75 Ω 終端

同期信号 . . . . . 三値 ±0.3 Vpp 75 Ω 終端

#### DVI-D

#### 3G/HD-SDI

### 音声

RCA . . . . . 6dBVmax 270Ω 不平衡

### 映像データ処理

静止画非圧縮方式 . . . . . TIFF

静止画圧縮方式 . . . . . JPEG

動画圧縮方式 . . . . . H.264

最大動画記録時間 . . . . . 24 時間

## 付録A 各種端子ピン配列

### NTSC S-VIDEO INPUT/OUTPUT

端子番号	信号名
1	GND
2	GND
3	S-Y
4	S-C

### RS-232C

端子番号	信号名
1	---
2	RXD
3	TXD
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	---

TXD、RXD、RTS、CTS、DTR、DSRの入出力仕様は、EIA RS-232C に準拠しています。



# ソフトウェアに関する重要なお知らせ

---

## マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項

下記 URL をご参照の上、最新の情報をご確認ください。

[https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows/iot/iot-enterprise/eula/license\\_ja-jp\\_japanese\\_japan.pdf](https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows/iot/iot-enterprise/eula/license_ja-jp_japanese_japan.pdf)

## ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品に搭載されるソフトウェアには、ティアック株式会社（以下「弊社」とします）が第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれております。これらのソフトウェアに関する本お知らせを必ずご一読くださいますようお願い申し上げます。

### GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下の GNU General Public License(以下「GPL」とします)または GNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

お客様は添付の GPL/LGPL の条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

### パッケージリスト

linux-3.14.32

ffmpeg-2.8.7

alsa-lib-1.1.1

ソースコードの入手をご希望されるお客様は、以下の URL にアクセスの上、登録フォームからご要求ください。

<http://teac-global.com/support/opensource/form/>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

以下、GNU GENERAL PUBLIC LICENSE、GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE の原文を記載します。

## GPL

NOTE! This copyright does \*not\* cover user programs that use kernel services by normal system calls - this is merely considered normal use of the kernel, and does \*not\* fall under the heading of "derived work". Also note that the GPL below is copyrighted by the Free Software Foundation, but the instance of code that it refers to (the Linux kernel) is copyrighted by me and others who actually wrote it.

Also note that the only valid version of the GPL as far as the kernel is concerned is `_this_` particular version of the license (ie v2, not v2.2 or v3.x or whatever), unless explicitly otherwise stated.

Linus Torvalds

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE  
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.  
51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA  
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

#### Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE  
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not

covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you

distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not

excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

## NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

## END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
```

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it
under certain conditions; type `show c' for details.
```

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items—whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

```
Yooyodine, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program
`Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
```

```
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice
```

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

# GPL Version 2

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE  
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1991 Free Software Foundation, Inc.  
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA  
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the library GPL. It is numbered 2 because it goes with version 2 of the ordinary GPL.]

## Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users.

# ソフトウェアに関する重要なお知らせ

This license, the Library General Public License, applies to some specially designated Free Software Foundation software, and to any other libraries whose authors decide to use it. You can use it for your libraries, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link a program with the library, you must provide complete object files to the recipients so that they can relink them with the library, after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

Our method of protecting your rights has two steps: (1) copyright the library, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

Also, for each distributor's protection, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free library. If the library is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original version, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that companies distributing free software will individually obtain patent licenses, thus in effect transforming the program into proprietary software. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License, which was designed for utility programs. This license, the GNU Library General Public License, applies to certain designated libraries. This license is quite different from the ordinary one; be sure to read it in full, and don't assume that anything in it is the same as in the ordinary license.

The reason we have a separate public license for some libraries is that they blur the distinction we usually make between modifying or adding to a program and simply using it. Linking a program with a library, without changing the library, is in some sense simply using the library, and is analogous to running a utility program or application program. However, in a textual and legal sense, the linked executable is a combined work, a derivative of the original library, and the ordinary General Public License treats it as such.

Because of this blurred distinction, using the ordinary General Public License for libraries did not effectively promote software sharing, because most developers did not use the libraries. We concluded that weaker conditions might promote sharing better.

However, unrestricted linking of non-free programs would deprive the users of those programs of all benefit from the free status of the libraries themselves. This Library General Public License is intended to permit developers of non-free programs to use free libraries, while preserving your freedom as a user of such programs to change the free libraries that are incorporated in them. (We have not seen how to achieve this as regards changes in header files, but we have achieved it as regards changes in the actual functions of the library.) The hope is that this will lead to faster development of free libraries.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, while the latter only works together with the library.

Note that it is possible for a library to be covered by the ordinary General Public License rather than by this special one.

## GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Library General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- The modified work must itself be a software library.
- You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based

on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or restrict your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also compile or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

c) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

d) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the

original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Library General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

## NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU

FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

## END OF TERMS AND CONDITIONS

### How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
```

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Library General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Library General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Library General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library "Frob" (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

```
<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice
```

That's all there is to it!

# LGPL Version 2.1

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE  
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.  
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA  
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

## Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages—typically libraries—of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether

# ソフトウェアに関する重要なお知らせ

this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to be gained by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is

linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

## GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- The modified work must itself be a software library.
- You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square

root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or restrict your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.



6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the Library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or

distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

## NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

## END OF TERMS AND CONDITIONS

### How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>  
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation, either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library "Frob" (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990  
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

保証書の発行は、弊社 Web サイトの製品保証登録ページからも可能です。下記の製品保証登録ページからお客様の情報をご入力いただいた場合も、下記の無料修理規定の内容に沿って無料で修理を行います。ご入力いただいたお客様の情報は弊社にて管理し、登録完了後メールにて保証書を発行いたします。

ティアック 医用画像製品サイト 製品保証登録ページ <https://teacmv.jp/warranty.html>

## 保証書

型 名	MV-1		
シリアル	No.		
保証期間	本 体	1 年	
お買上げ日	年 月 日		
お 客 様	お名前	様	
	ご住所	〒 ( ) 電話 ( )	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

販 売 店	所在地・名称 (印)
	電話 ( )

### 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。
- ご転居等でお買上げの販売店に修理をご依頼にならない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
  - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
  - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
  - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
  - 特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

- (6) メンテナンス
  - (7) 本書の提示がない場合
  - (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、弊社サービス部門にお問い合わせください。

## ティアック株式会社

〒 206-8530 東京都多摩市落合 1-47

### この製品に関するお問い合わせは

情報機器事業部 イメージングシステムソリューション部  
メディカルシステム営業課 までご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、  
土・日・祝日・弊社休業日を除く  
9:30~12:00/13:00~17:00です。

### 営業課

〒 206-8530 東京都多摩市落合 1-47  
電話：042-356-9160  
FAX：042-356-9185

### 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、  
土・日・祝日・弊社休業日を除く  
9:30~12:00/13:00~17:00です。

### ティアック修理センター サービス部 情報サービス課

〒 358-0026 埼玉県入間市小谷田 858  
電話：04-2901-1037  
FAX：04-2901-1042

●住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。